



HIC-SF600N

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第1版	2023年9月1日	新規作成
第1.1版	2024年9月26日	ご使用上の注意事項 見直し

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途^{*}での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害が生じても当社はいかなる責任も負いかねます。お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等十分な配慮をお願いします。
*：極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。

免責事項

- インターネットにアクセスできる製品に関しては、製品の使用は完全にお客様自身の責任で行われるものとします。当社は、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス検査、その他のインターネットセキュリティリスクにより生じた異常動作、プライバシー漏えいその他の損害について、一切責任を負わないものとしますが、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- 監視法は国によって異なります。監視目的で本製品を使用する前に、お住まいの地域のすべての法律を確認してください。私たちは、違法な操作によって生じるいかなる結果についても責任を負いません。

サイバーセキュリティに関する推奨事項

- 強力なパスワードを使用します。パスワードには、少なくとも 8 文字、または文字、数字、大文字と小 文字の組み合わせを使用する必要があります。
- デバイスのパスワードを定期的に変更して、承認されたユーザのみが system にアクセスできるようにします（推奨時間は 90 日です）。
- サービスのデフォルトポート(HTTP-80、HTTPS-443など)を変更して、部外者がアクセスできるリスクを軽減することをお勧めします。
- ルータのファイアウォールを設定することをお勧めします。しかし、いくつかの重要ポート(HTTP ポート、HTTPS ポート、データポートなど)は閉じることができません。
- デバイスを直接公衆ネットワークに接続することはお勧めしません。公衆ネットワークに接続する必要がある場合は、ルータを介しそれに対応するファイアウォールポリシーを設定してください。
- SNMP の v1 および v2 機能を使用することは推奨されません。
- WEBクライアントアクセスのセキュリティを強化するために、HTTPSを有効にするTLS証明書を作成してください。
- ブラックリストとホワイトリストを使用してIPアドレスをフィルタリングします。これにより、指定された IP アドレスを除くすべての人がシステムにアクセスできなくなります。
- 複数のユーザを追加する場合は、ゲストアカウントの機能を制限してください。
- UPnP を有効にすると、ルータまたはモデムのポートの転送が自動的に試行されます。ユーザにとっては便利な機能ですが、システムが自動的にポートを転送するためデータ漏洩のリスクが高まります。UpnP機能を必要としない場合は、無効に設定することをお勧めします。
- ログを確認してください。権限のないユーザによってデバイスがアクセスされたかどうかを知りたい場合は、ログで確認できます。システムログには、システムのログインに使用された IP アドレスとアクセスされた IP アドレスが表示されます。

規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A



RoHS

製品は、電気および電子機器における特定の有害物質の使用の制限に関する指令 EU RoHS 指令 2011/65/EU および修正指令 EU 2015/863 に従って設計され、製造されています。

2012/19/EU(WEEE 指令):廃電・電子機器に関する指令(WEEE 指令)。WEEE の環境管理を改善するためには、寿命の末に電子機器の回収、処理、リサイクルの改善が不可欠です。したがって、この記号でマークされた製品は、責任ある方法で廃棄する必要があります。

指令 94/62/EC:この指令は、包装および包装廃棄物および環境保護の管理を目的としています。本書に記載されている製品の包装・包装廃棄物は、適切なりサイクルと環境保護のために、指定された収集ポイントで廃棄する必要があります。

REACH(EC1907/2006): REACH は化学物質の固有特性をより適かつ早期に同定することで、人の健康と環境の高いレベルの保護を確保することを目的とした化学物質の登録、評価、認可、制限に関するものです。本書の製品は、REACH の規則および規則に準拠しています。REACH の詳細については、**DG GROWTH** または **ECHA** のウェブサイトをご覧ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただるために

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

**尚、本書のメニュー画面は Edge の IE モードでアクセスした HIC-SF600N の画面を採用し
ファームウェアバージョンは、4.2.1.0（31842）で作成しています。**

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。



●専用 AC アダプタ以外は使用しない！

定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！

引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



●指定された消費電力 (W) を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力 (W) は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



●本機のケース・裏パネル等をはずさない！

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。



●本機の上に水などの入った容器を置かない！

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。



●風呂、シャワー室などの水場では使用しない！

火災・感電の原因となります。



●本機の上に小さな金属物を置かない！

中に入ると、火災・感電の原因となります。



●表示された電源電圧以外は使用しない！

火災・感電の原因となります。



●本機に水を入れたり、濡らしたりしない！

火災・感電の原因になります。

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！落とし込まない！

火災・感電の原因となります。



●本機を改造しない！

火災・感電の原因となります。

設置について



警告



●不安定な場所に置かない！

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



●電源コードの上に重いものを置かない！ 本機の下敷きにしない！

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- 水場に設置しない！
火災・感電の原因となります。



- 指定された機器以外とは接続しない！
火災・感電の原因となります。



- 本機の固定は工事専門業者に依頼を！
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。



- 湿気やほこりの多い場所に置かない！
火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！
火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔をふさがない！
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- 電源コードを熱器具に近づけない！
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について

 警告

- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。

- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。

- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。

- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



- お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！

感電の原因となることがあります。



- 一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！

本機の内部にはこりがたまたまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。



注意

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適当なものがあった場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他



通知

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。



通知

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	15
1.1 製品概要	15
1.2 特徴	15
1.3 監視アプリケーション	16
1.4 梱包物一覧	16
1.5 製品外観	17
1.6 カメラの設置例	18
2. ネットワーク接続	19
2.1 LAN	19
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	19
2.1.2 Web ブラウザで直接アクセス	22
2.2 WAN	23
2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	23
2.2.2 静的 IP によるアクセス	24
3. ライブ画面	25
4. 設定ホーム	31
4.1 システム設定	32
4.1.1 基本情報	33
4.1.2 日付と時間	34
4.1.3 ローカル設定	36
4.1.4 ストレージ	37
4.1.5 魚眼パラメータ	44
4.2 イメージ	45
4.2.1 ディスプレイの設定（画質調整）	46
4.2.2 ビデオ/音声	50
4.2.3 OSD	52
4.2.4 ビデオマスク	53
4.2.5 ROI 設定	54
4.3 PTZ	55
4.3.1 プロトコル	56

4.4 アラーム	57
4.4.1 動き検出	58
4.4.2 異常	64
4.4.3 アラームイン	68
4.4.4 アラームアウト	69
4.4.5 アラームサーバ	72
4.5 ネットワーク	73
4.5.1 TCP/IP	74
4.5.2 ポート	77
4.5.3 サーバ	78
4.5.4 DDNS	79
4.5.5 SNMP	82
4.5.6 802.1X	85
4.5.7 RTSP	86
4.5.8 UPnP	88
4.5.9 Email	89
4.5.10 FTP	92
4.5.11 HTTPS	94
4.5.12 QoS	98
4.6 セキュリティ設定	99
4.6.1 ユーザー	99
4.6.2 オンラインユーザ	103
4.6.3 ブロックと許可リスト	104
4.6.4 安全管理	105
4.7 メンテナンス	106
4.7.1 バックアップと復元	107
4.7.2 リブート（再起動）	109
4.7.3 アップグレード	110
4.7.4 操作ログ	111
5. 検索	112
5.1 録画検索	113
5.1.1 ローカル録画（動画）	113
5.1.2 SD カード録画（動画）	114
5.2 画像検索	116
5.2.1 ローカル画像（静止画）	116

5.2.2 SD カード画像（静止画）	117
6. 製品仕様	118
7. 困ったときには	121
8. 製品保証	124

1. はじめに

1.1 製品概要

本モデルは、1/2.9"6 メガピクセル CMOS センサーを使用し 360°パノラマ撮影が可能な全方位ネットワークカメラです。360°の魚眼画像の他、180°パノラマ画像、90°画像を同時に出力することができ、あらゆる視点からの監視に対応しています。

オートホワイトバランス機能、逆光補正、自動絞り機能、自動電子シャッター機能など、豊富な機能を装備し、屋外にも設置可能なネットワークカメラです。

H.264/H.265 の画像圧縮方式に対応しており、高画質および高データ圧縮率を実現しています。

PoE 機能も搭載しており、PoE ポート内蔵の NVR と組み合わせることで、プラグ & プレイの接続が可能です。

1.2 特徴

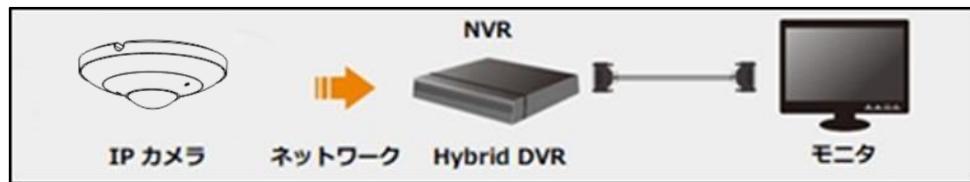
- 1/2.9" 6 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、高解像度・高画質を実現
- PoE 給電対応
- 赤外線 LED を装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- H.264/H.265/MJPEG 対応
- 360°魚眼、180°パノラマ、90°（デジタル PTZ）の異なる画角の映像を 11 系統のストリーミングで配信可能
- WDR 機能、BLC 機能により、逆光等の明暗差が大きな被写体でも、最適な画質に調整
- MicroSD カードへの録画対応・録画スケジュール設定も可能
- マイクロホン内蔵
- 専用 NVR や VMS での、さまざまな映像表示パターンとデジタル PTZ 制御に対応
- アラーム入出力端子を装備
- 音声入出力端子を装備
- IP67 規格対応の防塵・防水構造
- IK10 耐衝撃構造
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、DDNS 等、豊富な機能を搭載

1.3 監視アプリケーション

カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR などの録画装置を接続



カメラと CMS など監視ソフトウェアと接続



1.4 梱包物一覧

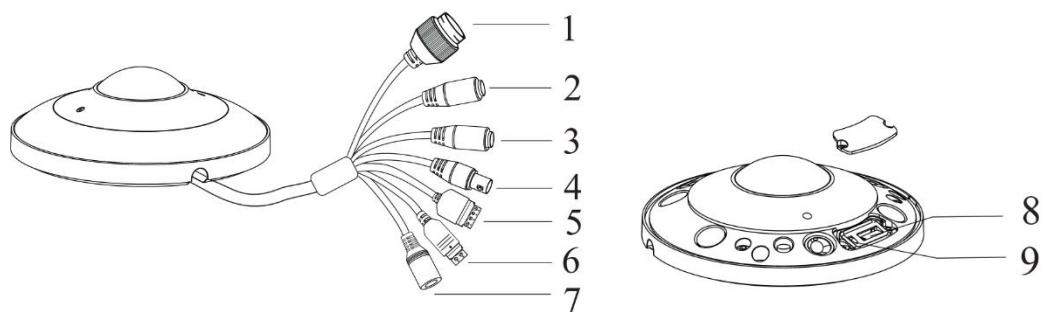
ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですが
お買い上げの販売店までご連絡ください。

● HIC-SF600N

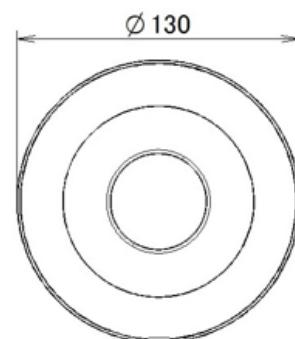
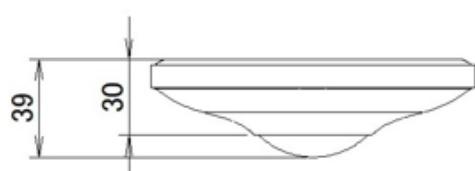
名 称	数 量
本体	1 台
ネジ、アンカー(各 3 本)	1 式
レンチ	1 本
ドリルテンプレート	1 枚
クイックマニュアル	1 枚

1.5 製品外観

● スマート PTZ カメラ HIC-SF600N



#	表 示	説 明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	MIC	オーディオ入力 (LINE) (3.5mm)
3	HP	オーディオ出力 (3.5mm)
4	ビデオ出力	アナログ映像出力
5	アラーム	アラーム入力/出力
6	RS485	RS485 制御コントローラに接続
7	POWER	DC12V 入力
8	SD カードスロット	レンズ横の蓋（ネジ 2 本）を外してメモリカード（Micro SD/SDHC/SDXC）をスロットに挿入します。SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
9	リセット	カメラの電源を入れた後、リセットボタンを 5 秒以上押し続けて、工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。



単位 : mm

1.6 カメラの設置例

本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

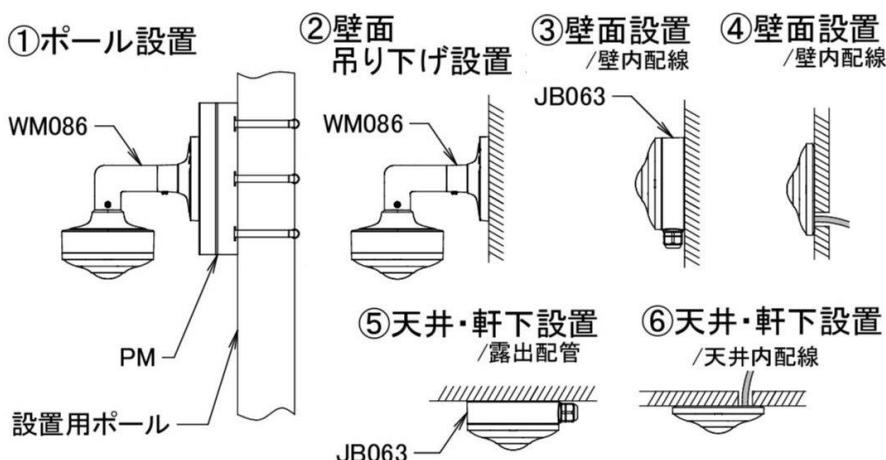
注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。

注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。下部ドームまたはカバーを取り外す場合、4 時間以内に元に戻してください。

注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

● スマート PTZ カメラ HIC-SF600N

- ① 天井面に直接設置する場合は、付属のドリルテンプレートなどを使い、ネジ穴 3 つと、ケーブル穴 1 つ（壁面にケーブルを通す場合）を開けます。付属の取付けねじで固定します
- ② 壁面などに設置する場合は、オプションの壁面取付けアームを使用します。



2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1 LAN

LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：



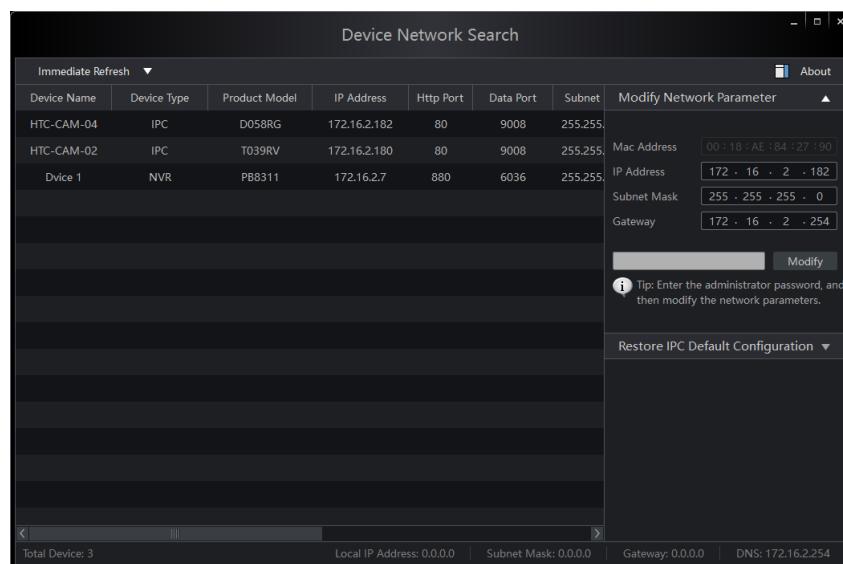
以下の手順で行います。

- ① IP-Tool を CD から PC(コンピュータ)にインストールしておきます。

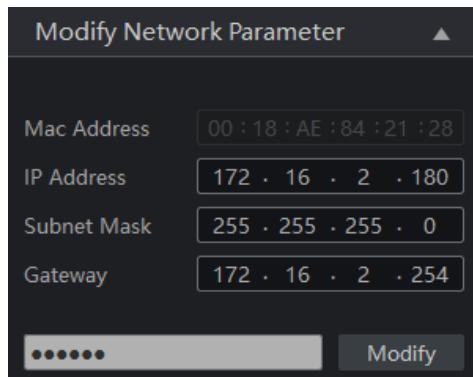
IP-Tool のダウンロードは以下 URL からお願いします。（他のカメラのリンク先の IP-Tool でも使用できます。）

<https://hytec.co.jp/products/video/sf600n.html>

- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン をダブルクリックすると、以下のように動作します。



- ④ IP アドレスを変更します。本機のデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。



例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、[Modify] ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは “**123456**” です。（カメラの管理者パスワードです。）

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、IE ブラウザ（または Edge の IE モード）がポップアップして IP カメラに接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前でブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗するときがあります。失敗したときは再度インストールを試みてください。

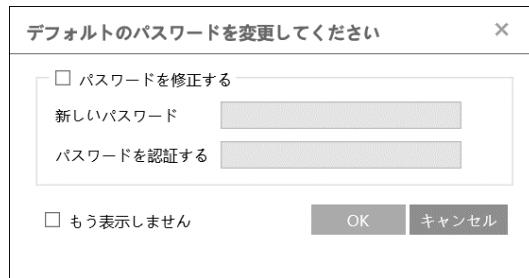


名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は “**admin**” 、デフォルトパスワードは “**123456**” です。

IE または Edge の IE モードでアクセスができます。

- ⑥ デフォルトのパスワード変更を要求された場合、セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、[パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力します。変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。[もう表示しません]にチェックを入れると、次回からこのメッセージは表示されません。



ログインが成功しプラグインのインストールに成功しているとカメラのライブ画像を表示することができます。※IE を利用するときは画像表示するときにプラグインのインストールは必須です。

IE または Edge の IE モードでアクセスができます。

2.1.2 Web ブラウザで直接アクセス

デフォルトネットワーク設定を表示します。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例：Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから[インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、[OK]をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗するときがあります。失敗したときは再度インストールを試みてください。
- ⑤ ログイン画面で名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は “admin” 、 デフォルトパスワードは “123456” です。

IE または Edge の IE モードでアクセスができます。

2.2 WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー「4.5.2 ポート」に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	80
HTTPSポート	443
データポート	9008
RTSPポート	554
ロンゲポーリングポート	8080
WebSocketポート	7681

保存

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー「4.5.1 TCP/IP」に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4		IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する				
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う				
IPアドレス	192.168.226.201	テスト		
サブネットマスク	255.255.255.0			
ゲートウェイ	192.168.226.1			
優先DNSサーバ	192.168.226.1			
代替DNSサーバ	8.8.8.8			

保存

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。

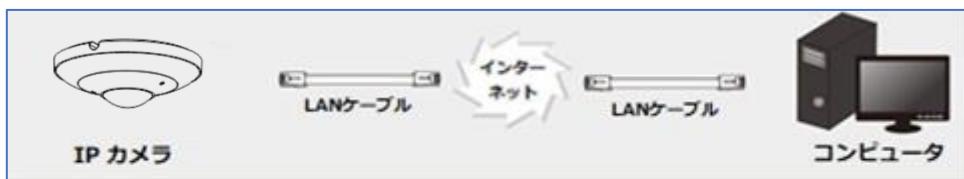
HTTP ポートとデータポートをフォワーディングしてください。Onvif 接続の時は、HTTP ポートと RTSP ポートをフォワーディングします。

- ④ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例：<http://192.168.226.180:880>

2.2.2 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 設定>ネットワーク>ポートメニュー「4.5.2 ポート」に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	80
HTTPSポート	443
データポート	9008
RTSPポート	554
ロングポーリングポート	8080
WebSocketポート	7681

- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー「4.5.1 TCP/IP」に移動して、IP アドレスを設定します。

[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

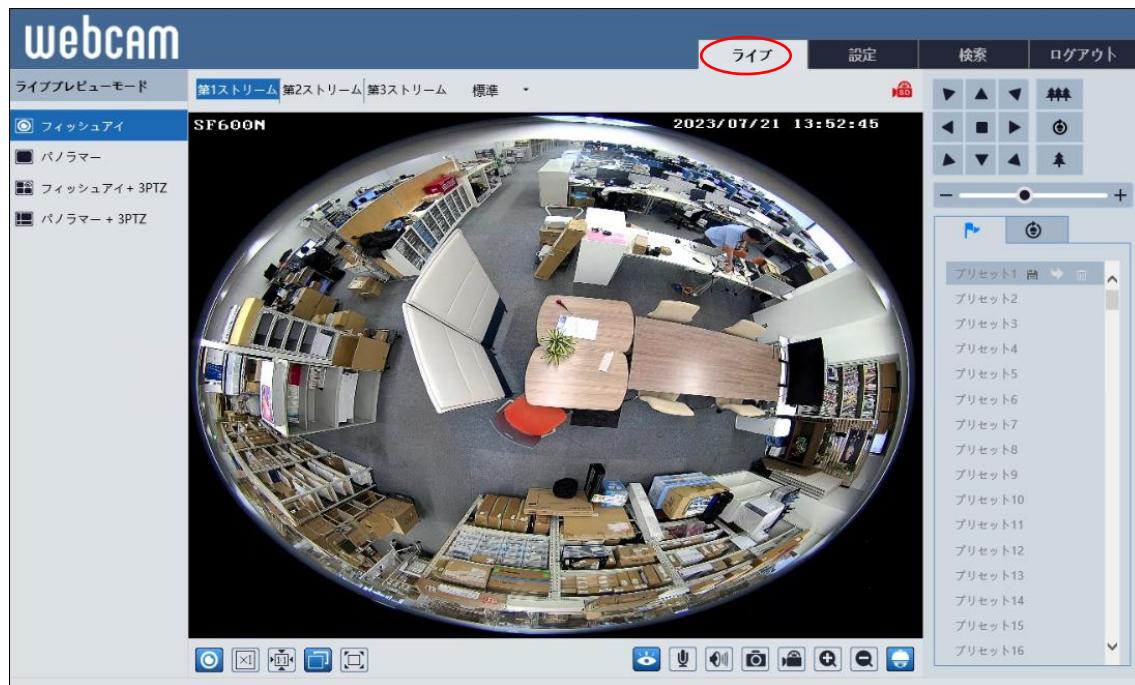
IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う			
IPアドレス	192.168.226.201	<input type="button" value="テスト"/>	
サブネットマスク	255.255.255.0		
ゲートウェイ	192.168.226.1		
優先DNSサーバ	192.168.226.1		
代替DNSサーバ	8.8.8.8		

- ③ Web ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例：<http://192.168.226.180:880>

3. ライブ画面

右上の[ライブ]タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明

再生するライブ画面の画質を、第1ストリーム / 第2ストリーム / 第3ストリームから選択します。
各ストリームの設定は、「4.2.2 ビデオ/音声」で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューモード選択※1		等倍表示 (1 : 1)
	オリジナルアスペクト比		ウィンドウに合わせる
	フルスクリーン※2		

※1 をクリックしてライブビューモードを選択します。

※2 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスでダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※3

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		アラーム入力のアラーム表示
	SDカードの有無を表示※4		

※3 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

※4 SDカードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双向音声のオン/オフ
	スピーカーのオン/オフ		スナップショット※5
	手動録画のオン/オフ		ズームイン/ズームアウト
	PTZ制御のオン/オフ※6		

※5 Edge の IE モードの場合、本機能はサポートしておりません。

※6 PTZ をオンにすると、以下のアイコンが画面の右側に表示されます。



アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの向きを左上へ移動		カメラの向きを右上へ移動
	カメラの向きを上へ移動		カメラの向きを下へ移動
	カメラの向きを左へ移動		カメラの向きを右へ移動
	カメラの向きを左下へ移動		カメラの向きを右下へ移動

	カメラの移動を停止		移動速度調整
	ズームアウト（広角）		ズームイン（望遠）
	クルーズ		プリセット

プリセット、クルーズをクリックすると、それぞれの登録したリストが表示されます。登録については 27~28 ページを参照してください。

プリセットの場合は、リストの各行の横のアイコンをクリックすると動作します。

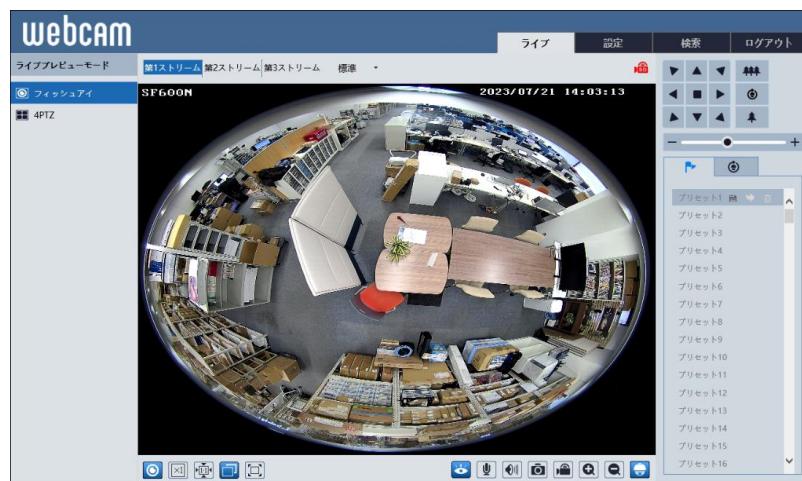
アイコン	説明
	現在の位置を保存します。
	保存されている方向にカメラを移動します。
	設定を削除します

クルーズの場合は、リストをクリックして選択したのちに、リストの上部にあるアイコンをクリックすると動作します。

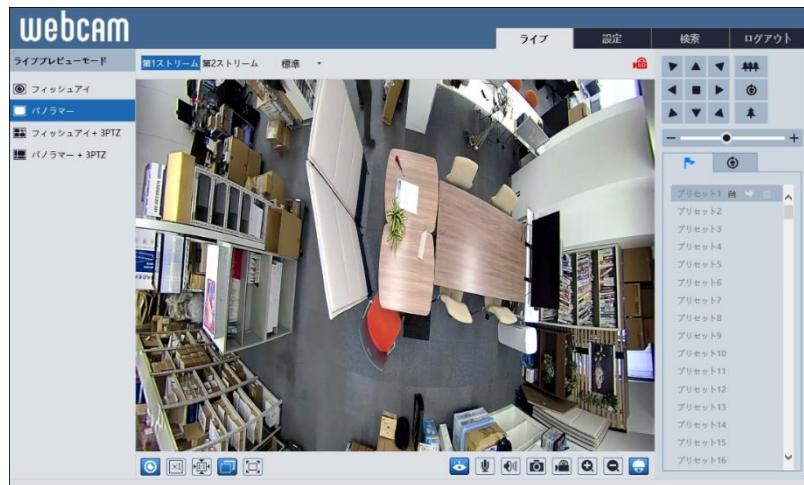
アイコン	説明
	動作を開始します。
	動作を停止します。

各種ライブビューモード

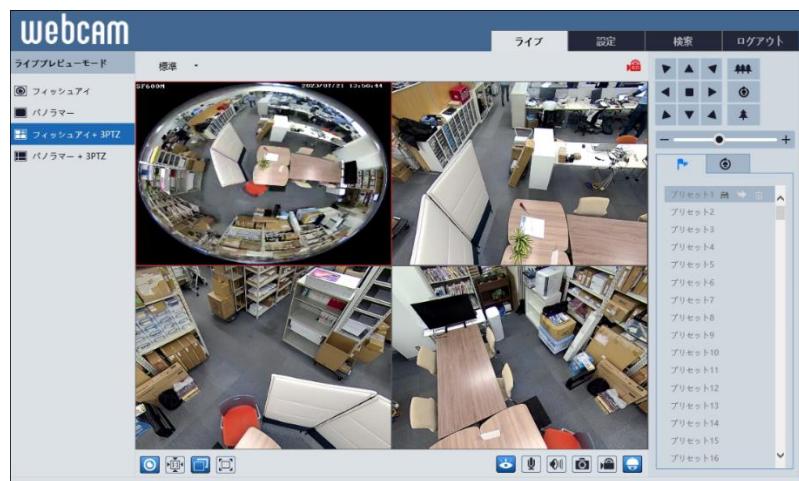
● フィッシュアイモード



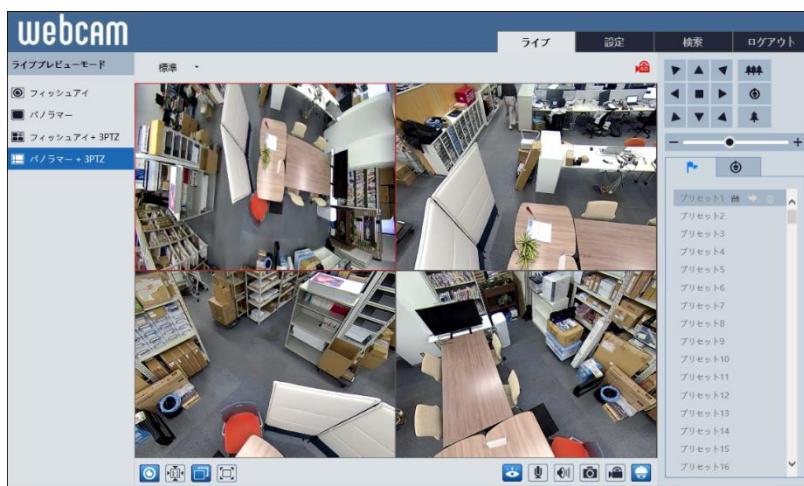
●パノラマビューモード



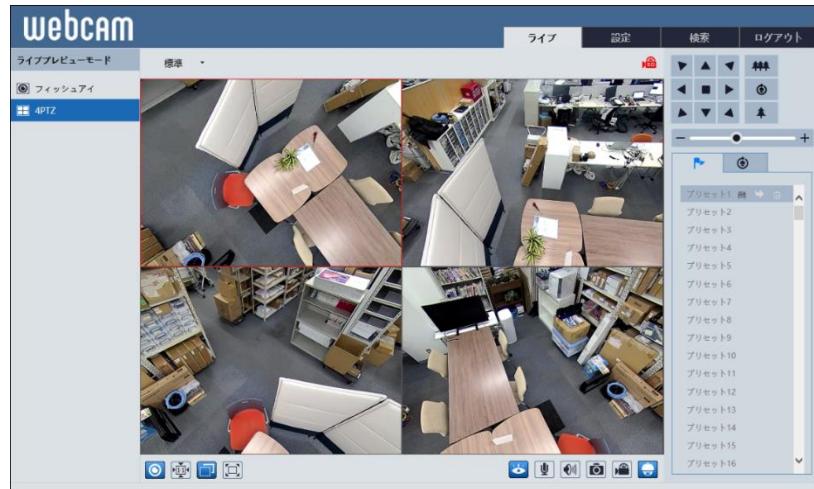
●フィッシュアイ + 3 PTZ ビューモード



●パノラマ+ 3 PTZ ビューモード



● 4 PTZ ビューモード（魚眼パラメータメニューでストリームモードを切替える必要があります。）



パノラマ+ 3PTZ ビューモードまたはフィッシュアイ+3PTZ ビューモードまたは 4PTZ ビューモードでは、PTZ ウィンドウを選択し、PTZ パネルを制御することにより、あらゆる方向から画像を表示します。



をクリックしてコントロール パネルを表示します。コントロール・パネルの説明は以下のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
▶	カメラの向きを左上へ移動	◀	カメラの向きを右上へ移動
▲	カメラの向きを上へ移動	▼	カメラの向きを下へ移動
◀	カメラの向きを左へ移動	▶	カメラの向きを右へ移動
▶	カメラの向きを左下へ移動	◀	カメラの向きを右下へ移動
■	カメラの移動を停止	- ● +	移動速度調整
▲▲	ズームアウト（広角）	▲	ズームイン（望遠）
⌚	クルーズ（自動巡回）	▶	プリセット

● プリセット

プリセットを登録したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして保存します。

プリセットを呼び出したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして呼び出します。

プリセットを削除したいときは、プリセット番号を選択し、をクリックして削除します。

●クルーズ（※事前にプリセットを登録する必要があります。）

クルーズを登録したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックします。クルーズ名を入力し、プリセットを追加していきます。最後にOKをクリックしてクルーズを保存します。

クルーズを再生したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックしてクルーズを開始します。をクリックしてクルーズを停止します。

クルーズを削除したいときは、クルーズ番号を選択し、をクリックして削除します。

4. 設定ホーム

右上の[設定]タブを開きます。



4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージ、魚眼パラメータなどのサブメニューがあります。

 システム 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ 魚眼パラメータ	設定ホーム ▶ システム
 イメージ ディスプレイの設定 ビデオ/音声 OSD ビデオマスク ROI設定	システム <ul style="list-style-type: none"> ● 基本情報 デバイス名、ブランド、Macアドレス、ソフトウェアおよびハードウェアのバージョン ● 日付と時間 本設備の日付と時間を設置する ● ローカル設定 スナップショットとビデオ録画パスを設定する ● ストレージ SDカードの情報とフォーマットのオプション ● 魚眼パラメータストリームモードとインストールパラメータを設定します。
 PTZ プロトコル	
 アラーム 動き検出 異常 アラームイン アラームアウト アラームサーバー	
 ネットワーク TCP/IP ポート もっと...	
 セキュリティ ユーザー オンラインユーザー ロックと許可リスト 安全管理	
 メンテナンス バックアップと復元 リポート アップグレード 操作ログ	

4.1.1 基本情報

デバイス名や製品モデル、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム ▶ 基本情報	
デバイス名	IPC
製品モデル	HIC-SF600N
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	4.2.1.0(31842)
ソフトウェア構築日	2022-08-26
カーネルのバージョン	24ef222
ハードウェアバージョン	1.3-1516847
Onvifバージョン	21.12
OCXバージョン	2.0.3.6
MAC	00:0f:3a:a5:87:de

※ デバイス名の変更は、「4.2.3 OSD」の[デバイス名]にて変更できます。

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム ▶ 日付と時間

ゾン 日時

ゾン

DST

自動DST

手動DST

開始時間

終了時間

時間ズレ

➤ タイムゾーン

[タイムゾーン]タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

設定ホーム ▶ システム ▶ 日付と時間

ゾン 日時

ゾン

DST

自動DST

手動DST

開始時間

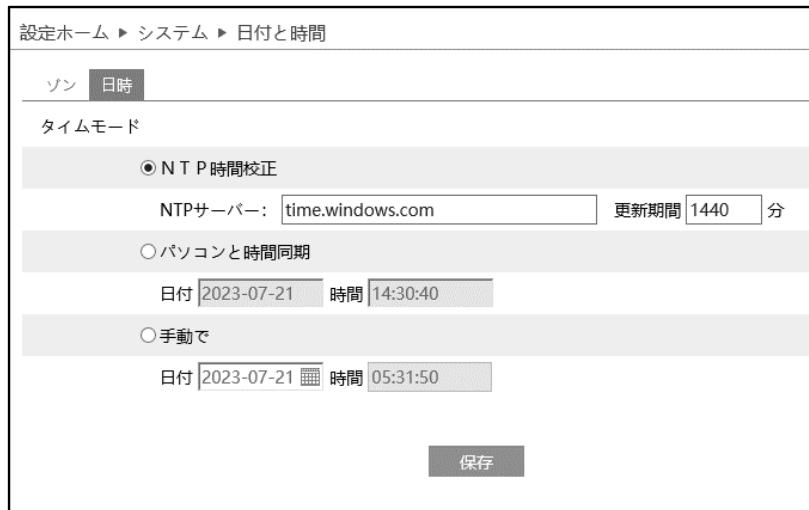
終了時間

時間ズレ

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
DST（サマータイム）	サマータイムを設定するには、[DST]にチェックを入れ、自動 DST または手動 DST を選択します。手動 DST を選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

➤ 日時合わせ

[日時合わせ]タブを開き、日付と時刻の設定を行います。



日付と時刻の設定方法

◆ NTP

[NTP 時間校正]を選択します。

NTP サーバのアドレスを入力し、日時の更新間隔(分)を設定します。

注 : NTP サーバにネットワーク経由で接続できる必要があります。事前に接続確認してください。

◆ パソコンと時間同期

[パソコンの時間と同期]を選択します。

パソコンの時間と自動的に同期を行います。

◆ 手動

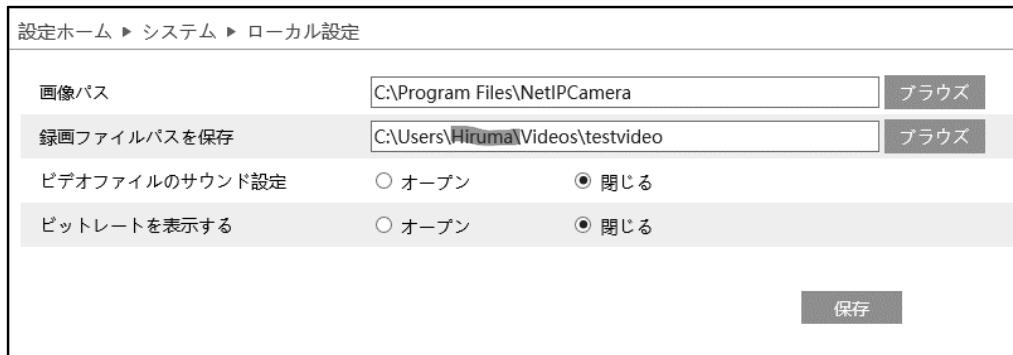
[手動で設定]を選択します。

□をクリックして、カレンダーから日付を選択、時間を入力します。

※ SD カードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

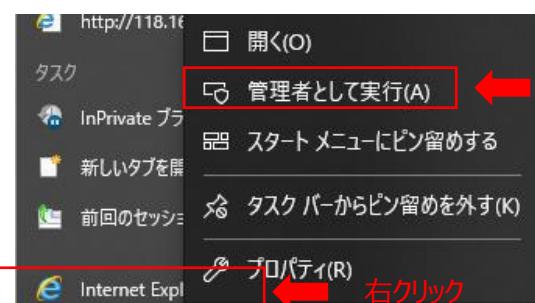
4.1.3 ローカル設定

※Edge の IE モードでアクセスした場合、以下のメニュー表示をしますが設定することはできません。



表示	説明
画像パス (静止画保存のパス)	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画ファイルパスを保存 (録画保存のパス)	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
ビデオファイルのサウンドを保存 (録画音声の設定)	録画ビデオに同時に音声を録画するかを指定します。
ビットレートを表示	ライブ画面にビットレートを表示することができます。 有効(ON)または無効(OFF)を選択します。

注 動画ファイルや静止画ファイルをローカル PC に保存するためには、Internet Explorer を管理者権限で起動する必要があります。



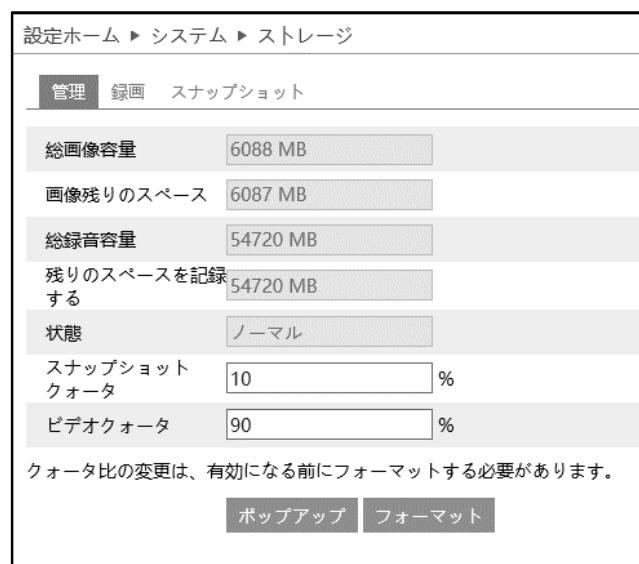
現在、Windows の仕様により、Internet Explore を起動することができないことがあります。

4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。

SD カードを取付けてないときは「カードなし」と表示します。

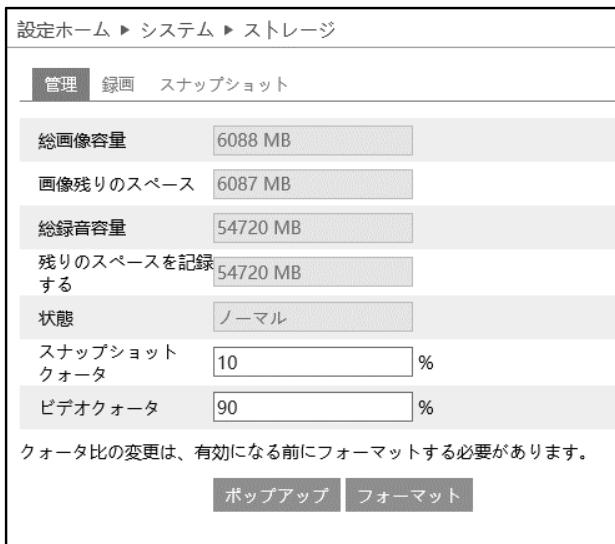
設定するときは、SD カードをカメラに取付ける必要があります。（最大 256GB）



➤ 管理

[管理]タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードをカメラに取付けると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。



表示	説明
総画像容量	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
画像残りのスペース	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
総録音容量	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りのスペースを記録する	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
スナップショットクオータ ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
ビデオクオータ ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
ポップアップ (カードの取り出し)	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。 クリックする前に SD カードを取り出すとファイル破損の原因となる可能性があります。
フォーマット	SD カードを初期化します。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

➤ 録画

[録画]タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム ▶ ストレージ

管理 録画 スナップショット

録画パラメータ

レコードストリーム 第1ストリーム

事前録音時間 事前記録なし (H264,H265,MJPEG)

サイクル書き込み はい

定時

スケジュール記録を有効にする

消去する 追加する

週日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00																								手動入力
月	00:00-24:00																								手動入力
火	00:00-24:00																								手動入力
水	00:00-24:00																								手動入力
木	00:00-24:00																								手動入力
金	00:00-24:00																								手動入力
土	00:00-24:00																								手動入力

休日スケジュール

日付 07-21

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	00:00-24:00																								手動入力

録画パラメータ

表示	説明
レコードストリーム (録画ストリーム)	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は「4.2.2 ビデオ/音声」で調整します。
事前録音時間 (プリ録画時間)	“プリ録画時間なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生の 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
サイクル書き込み (上書きする)	SD カードの空き容量が無くなったとき、上書き録画を行つか選択します。

※ イベントによる録画は、「4.4 アラーム」の連携するアラーム出力で、[SD カード録画トリガー]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

定時

表示	説明
スケジュール記録を有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法**◆ 一週間の日程**

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去する：録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加する：録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去する]または[追加する]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、[追加する]をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから[削除]をクリックします。

➤ スナップショット

[スナップショット]タブを開き、SD カードに保存する静止画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム ▶ ストレージ

管理 録画 スナップショット

スナップショットパラメータ

画像フォーマット	<input type="text" value="JPEG"/>
解像度	<input type="text" value="960x960"/>
画質	<input type="text" value="低い"/>

トリガーされたイベント

スナップショット間隔	<input type="text" value="1"/> 秒
スナップショット数量	<input type="text" value="5"/>

定時

タイミング・スナップショットを有効にする

スナップショット間隔	<input type="text" value="5"/> 秒
------------	----------------------------------

消去する 追加する

週日程

日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
月	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
火	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
火	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
水	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
水	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
木	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
木	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
金	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
金	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								
土	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
土	<input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力																								

休日スケジュール

日付	<input type="text" value="07-21"/>	<input type="button" value="追加する"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text" value=""/> <input type="text" value="00:00-24:00"/> 手動入力
----	------------------------------------	--	---

スナップショットパラメータ（静止画パラメータ）

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットを選択します。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、「4.2.2 ビデオ/音声」で行います。

トリガーされたイベント（イベント発生に連動）

表示	説明
スナップショット間隔	「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SDカードに保存するか設定します。
スナップショット枚数 (撮影枚数)	スナップショット間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。

※「4.4 アラーム」の連携するアラーム出力で、[SDカード画像取りトリガー]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SDカードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20秒、スナップショット間隔：5秒、スナップショット枚数：3枚の場合

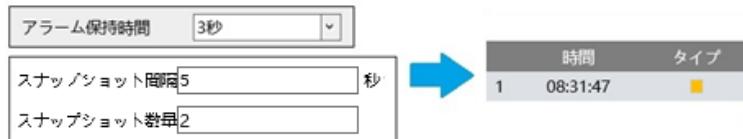
→ イベント発生時に1枚、その後5秒間隔で1枚ずつ撮影され、計3枚(最大)のスナップショットが保存されます。



※ここでは、イベント発生時、発生から5秒後、10秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム保持時間：3秒、スナップショット間隔：5秒、スナップショット枚数：2枚の場合

→ イベント発生時に1枚、3秒でアラーム保持時間が終了したため、5秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の1枚のみ保存されます。



※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

定時

表示	説明
タイミング・スナップショット を有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
スナップショット間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法**◆ 一週間の日程**

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去する：写真保存を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加する：写真保存を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去する]または[追加する]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、
時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、[追加する]をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから[削除]をクリックします。

**現在、Windows の仕様により、Internet Explore を起動することができない
ことがあります。**

**SD カードに録画した動画のデータをダウンロードするには HCMS ソフトウェアをご
利用ください。ただし、スナップショット画像は HCMS からは一切扱えません。
HCMS については、営業担当またはサポートまでお問合せください。**

4.1.5 焦眼パラメータ

ライブ画像をどのように表示するか設定します。

設定ホーム ▶ システム ▶ 焦眼パラメータ	
ストリームモード	<input type="button" value="フィッシュアイ+パノラマビ"/>
インストール方法	<input type="button" value="デスクトップ"/>
注意: インストール方法を変更すると、ライブプレビュー、画像エフェクト、PTZモード、プリセットなどに影響します。	
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
ストリームモード	2種類の表示方法から選択します。 ・フィッシュアイ+パノラマビューチェック+3PTZ ・フィッシュアイまたは4PTZ ※ストリームモードの設定を変更するとカメラは再起動します。
インストール方法	カメラを取付ける場所を天井またはデスクトップから選択します。

ストリームモードを設定するとライブビュー画面左上の表示が変わります。実際のライブ表示画面は各種ライブビューモード（25ページ）を参照してください。

- フィッシュアイ+パノラマビューチェック+3PTZ を選択した場合



- フィッシュアイまたは4PTZを選択した場合



4.2 イメージ

ディスプレイの設定、ビデオ/音声、OSD、ビデオマスク、ROI 設定などのサブメニューがあります。

 システム 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ 魚眼パラメータ	設定ホーム ▶ イメージ イメージ <ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイの設定 カメラの表示パラメータ（明るさ、コントラスト、彩度など）を設定する ● ビデオ/音声 ビデオパラメーターを設定（解像度、フレームレート、ストリームタイプ、画質など） ● OSD OSDセッティング（タイムスタンプ、ウォーターマーク等） ● ビデオマスク プライバシーの強化のためのプライバシーマスク設定 ● ROI設定 ROI設定変更
 PTZ プロトコル	
 アラーム 動き検出 異常 アラームイン アラームアウト アラームサーバー	
 ネットワーク TCP/IP ポート もっと...	
 セキュリティ ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト 安全管理	
 メンテナンス バックアップと復元 リポート アップグレード 操作ログ	

4.2.1 ディスプレイの設定（画質調整）

カメラの画質(輝度、コントラスト、色相など)に関するパラメータを設定します。



➤ カメラのパラメータ

[カメラのパラメータ]タブを開き、通常・昼間・夜のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。



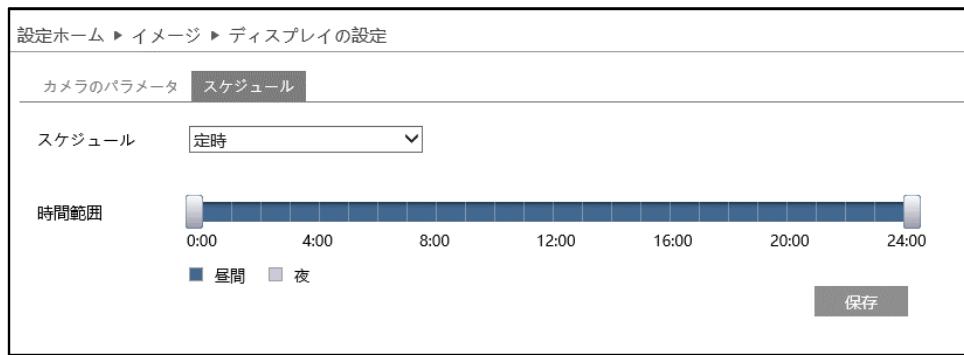
表示	説明
配置ファイル（撮影設定）	3パターンの撮影設定（通常、昼間、夜）を行います。 それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさ調整します。
コントラスト	カメラ画像のコントラストを調整します。
色相	カメラ画像の色相（色合い）を調整します。
飽和度（彩度）	色の濃さを調整します。0に調整すると白黒画像になります。
WDR	ハイライト部と暗部の両方を自動調整し、鮮明な画像に調整します。

シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。
ノイズ現象（ノイズ除去）	ノイズ除去にチェックを入れ、有効にします。 映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
霧除け	霧除けにチェックを入れ、有効にします。 雨、霧、靄、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
BLC	逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。 オフ：逆光補正機能を無効にします。（デフォルト） HLC：ハイライト補正。強い光源をカバーします。 BLC：逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。
アンチフリッカー (フリッカレス)	オフ：フリッカ除去機能をオフにします。 50Hz/60Hz：50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。
ホワイトバランス	自動、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。マニュアルを選択した場合は、赤レベルと青レベルの値を設定し、手動で色温度を設定します。
ビデオシステム(映像周波数)	周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。
昼/夜モード	自動：昼モードと夜モードを自動で切替えます（デフォルト）切り替えの感度（明るさ）を設定できます。 昼間専用：カラー撮影固定 夜：白黒撮影固定 設定された時間で実行：昼モード/夜モードの切り替え時間を設定できます。
感度	昼/夜モードを切替える感度を設定します。 高い・中・低いから選択します。
遅延時間	昼/夜モードを切替えるときに遅延させる時間を設定します。すぐに切り替わらないようにするときは長く設定します。
IR モード (IR 照明自動調光)	自動、オフ、オンから選択します。 オン：IR 照明は最大で発光します。（昼でも常時点灯） オフ：IR 照明は点灯しません。 自動：カメラの近くの被写体が白飛びしないように、自動で IR 照明を調光します。
露出モード	自動またはマニュアルから選択します。

	マニュアル：シャッター速度およびゲインを設定できます。 ゲインの数値が大きいほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
ゲイン制限	ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
イメージミラー	カメラ画像を左右反転させます。
イメージフリップ	カメラ画像を上下反転させます。

➤ スケジュール

[スケジュール]タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。



スケジュールの設定方法

◆ フルタイム（24 時間連続）

“24 時間連続”を選択した場合、撮影設定（配置ファイル）は常時、自動から選択します。

◆ 定時（設定された時間で実行）

“定時”（設定された時間で実行）を選択した場合、タイムライン上の“■”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。

カメラのパラメータの昼/夜モードで“定時”が設定されている場合、設定されたスケジュールに従って自動的に昼間と夜に切り替わります。

4.2.2 ビデオ/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

Index	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	Iフレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	2160x2160	25	CBR	6144	中	100	H264	Main Profile
2	第2ストリーム	960x960	25	CBR	1536	最高	100	H264	Main Profile
3	第3ストリーム	480x480	25	CBR	768	より高い	100	H264	Main Profile

スナップショットを送信 サイズ (960x960)
 ビデオエンコードスライス分割
 ウォーターマーク (H264, H265) ウォーターマーク符号

➤ チャンネル ID

表示	説明
IP チャネル 1	フィッシュアイ画像のストリームを設定します。
IP チャネル 2	PTZ 操作できる画像またはパノラマ画像のストリームを設定します。※ 1
IP チャネル 3	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。
IP チャネル 4	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。
IP チャネル 5	PTZ 操作できる画像のストリームを設定します。

※1 ストリームモードに連動して変わります。ストリームモードは、「4.1.5 魚眼パラメータ」で設定します。

➤ ビデオ

[ビデオ]タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。(範囲 1 ~30 フレーム) 映像周波数 60Hz の場合。フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR : 可変ビットレート / CBR : 固定ビットレート
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。CBR のビットレート値が分からぬときは VBR を選択します。

I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。
ビデオ圧縮	H.264/H.265/MJPEG からビデオの圧縮方式を選択します。
プロファイル	H.264/H.264+を選択した場合、プロファイルを選択します。
スナップショットを送信	イベント発生時に送信する、写真のサイズ（解像度）を設定します。
ビデオエンコードスライス分割	ビデオエンコードスライス分割にチェックを入れ、有効にします。 この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。
ウォーターマーク	ウォーターマークにチェックを入れ、有効にします。 ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。

➤ オーディオ

[オーディオ]タブを開き、エンコード形式や入力方式を設定します。



表示	説明
Enable	音声出力を有効にする場合はチェックを入れます。
オーディオ形式	音声圧縮方式を選択します。（G711A または G711U）
オーディオ種類	内蔵 MIC と外部 LINE 入力を選択します。

4.2.3 OSD

OSD (On Screen Display) に関する設定を行います。



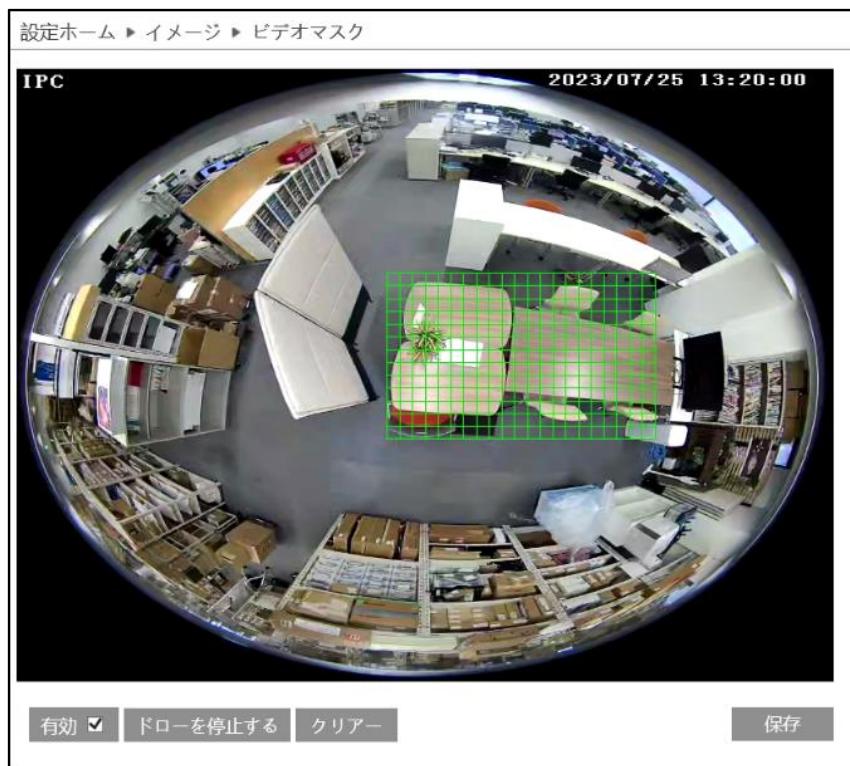
表示	説明
日付形式	[タイムスタンプ表示]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 表示形式を選択します。ディスプレイ上に赤枠でタイムスタンプを表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。(時間は最後尾に表示します。) 《 YYYY : 年、 MM : 月、 DD : 曜日 を表します 》
デバイス名	[デバイス名表示]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。 デバイス名を入力すると、ディスプレイ上に赤枠でデバイス名を表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。 ここで変更したデバイス名は、「4.1.1 基本情報」にも反映されます。
OSD 自己定義	チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> 追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示されるので、ドラッグして位置を変更します。 [1行追加]にチェックを入れると、文字列をもう1行追加できます。 写真オーバーレイを選択した場合、写真を表示することができます。 保存先変更から写真を指定し、アップロードをクリックします。

注意

OSD に使用する文字は英数字を使用してください。
日本語を入力すると文字バケが発生します。

4.2.4 ビデオマスク

プライバシーマスクに関する設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



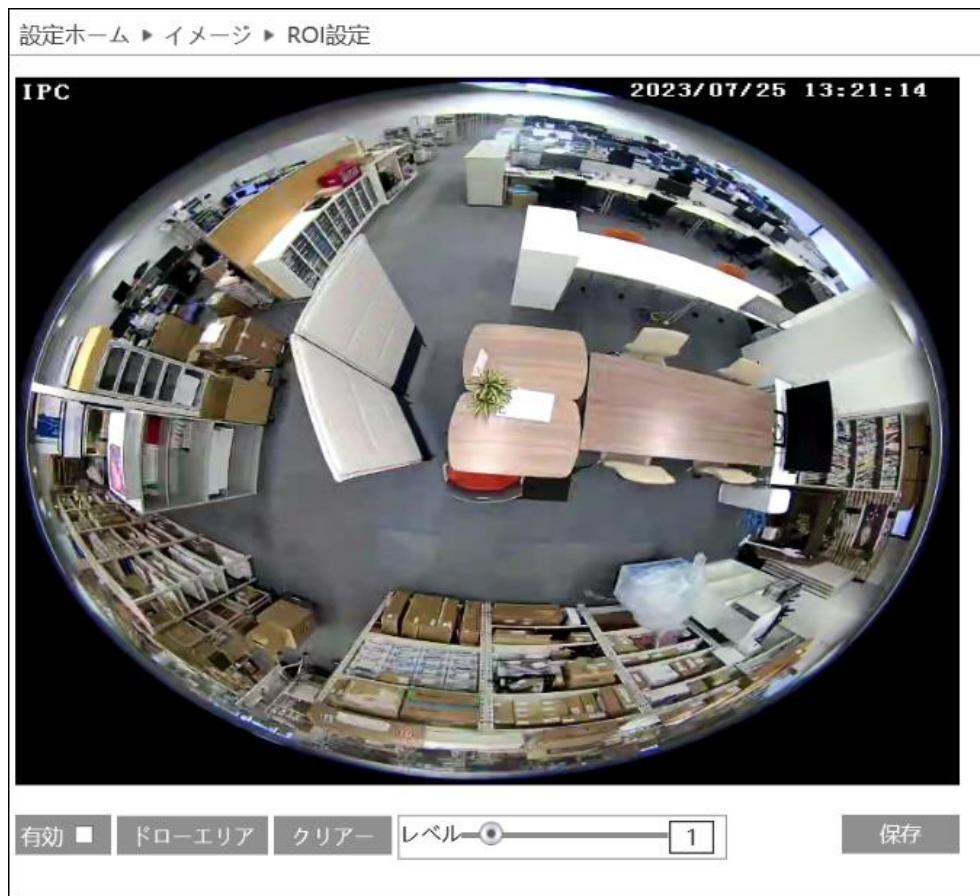
プライバシーマスクの設定

- ① [有効]にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。
- ② [ドローエリア]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグしてプライバシーマスクを作図します。最大 4 か所まで設定できます。
- ③ [ドローを停止する]をクリックすると、プライバシーマスクの作図を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると選択したプライバシーマスクを削除します。
- ⑤ [保存]をクリックして、設定したプライバシーマスクを保存します。

4.2.5 ROI 設定

ROI (Region of Interest) に関する設定を行います。

ROI は、設定した領域の画像をほかの領域より高精細にします。



ROI の設定

- ① [有効]にチェックを入れ、ROI を有効にします。
- ② [ドローエリア]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグして ROI 領域を描画します。ROI 領域は 3 か所まで設定できます。
- ③ [ドローを停止する]をクリックすると、ROI 領域の描画を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると ROI 領域を消去します。
- ⑤ スライドの をドラッグして ROI レベルを調整します。
- ⑥ [保存]をクリックして、設定した ROI 領域を保存します。

4.3 PTZ

RS485 で PTZ 制御するためのプロトコルを設定するサブメニューがあります。

設定ホーム ▶ PTZ	
PTZ	
● プロトコル	PTZプロトコル設定
 イメージ	ディスプレイの設定 ビデオ/音声 OSD ビデオマスク ROI設定
 PTZ	プロトコル
 アラーム	動き検出 異常 アラームイン アラームアウト アラームサーバー
 ネットワーク	TCP/IP ポート もっと...
 セキュリティ	ユーザー オンラインユーザー ロックと許可リスト 安全管理
 メンテナンス	バックアップと復元 リポート アップグレード 操作ログ

4.3.1 プロトコル

RS485 で PTZ 制御するためのプロトコルを設定します。

設定ホーム ▶ PTZ ▶ プロトコル

プロトコル	PELCOD
ボーレート	2400
アドレス	1: PTZ1 2: PTZ2 3: PTZ3
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
プロトコル	PELCOD または PELCOP から選択します。
ボーレート	通信速度を選択します。 110,300,600,1200,2400,4800,9600,19200,38400,57600,115200
保存	設定を保存します。

4.4 アラーム

動き検出、異常、アラームイン、アラームアウト、アラームサーバなどのサブメニューがあります。

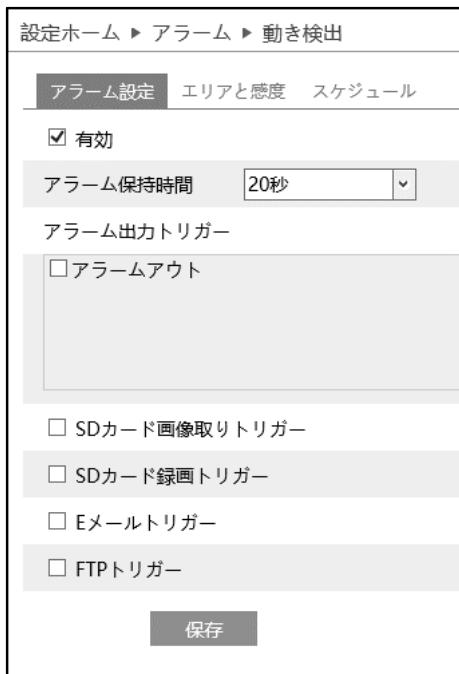


4.4.1 動き検出

動き検出のアラーム設定、エリア設定や感度、スケジュールを設定します。

▶ アラーム設定

[アラーム設定]タブを開き、動き検出時に連携するアラームを設定します。



表示	説明
有効	動き検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン が表示されます。 動きを検出すると、アイコン は赤く点滅します。
アラーム保持時間	動きアラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン が赤く点滅しています。 3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、2分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	動き検出では、以下の5つのアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力）、SDカード画像取りトリガー（写真をSDカードに保存）、SDカード録画トリガー（動画をSDカードに保存）、Eメールトリガー（Eメールを送信）、FTPトリガー（FTPファイル転送） ※各アラームの説明は、次の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

連携するアラーム出力

◆ アラームアウト（アラーム接点出力）

[アラームアウト]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。

アラーム出力に関する設定は、「4.4.4 アラームアウト」で行う必要があります。

◆ SD カード画像取りトリガー（写真を SD カードに保存）

チェックを入れると、イベントを検出したときに画像をキャプチャし SD カードに保存します。

キャプチャ画像の解像度は「4.2.2 ビデオ/音声」の写真のストリームで設定します。

SD カードへの画像保存に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「スナップショット」で行う必要があります。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、スナップショット数量：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

時間	タイプ
1 08:23:49	■
2 08:23:44	■
3 08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム保持時間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、スナップショット数量：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、アラーム保持時間が 3 秒で終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

時間	タイプ
1 08:31:47	■

※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画トリガー（動画を SD カードに保存）

チェックを入れると、イベントを検出したときにビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

◆ E メールトリガー（メールを送信）

[E メールトリガー]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[添付写真]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> E メールトリガー	<input checked="" type="checkbox"/> 添付写真
電子メールの受信者	
<input checked="" type="checkbox"/> AAAAAA@hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 添付写真
<input type="checkbox"/> BBBBBBBB@yahoo.co.jp	<input type="checkbox"/> 添付写真
<input type="checkbox"/> CCCCCC@gmail.com	<input type="checkbox"/> 添付写真
メールの件名 <input type="text"/>	
メールの内容 <input type="text"/>	

E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.9 Email」で事前に行う必要があります。

◆ FTP トリガー（FTP ファイル転送）

チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。FTP サーバをリストから選択し、イベント検出時の写真を添付する場合は[添付写真]にチェックを入れます。



FTP サーバに関する設定は、「4.5.10 FTP」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキスト ドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム保持時間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間を経過するごとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間 : 25 秒、アラーム保持時間 : 10 秒の場合

イベント発時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

1・2 回目のアラーム保持時間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、アラーム保持時間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキスト ドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

➤ エリアと感度

[エリアと感度]タブを開き、動き検出エリアと感度を設定します。



動き検出エリアの設定

- (1) [ドローエリア]をクリックし、[追加する]を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。[消去する]を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分消去できます。



- (2) [ドローを停止する]をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- (3) [すべて選択]をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。[すべてクリアー]をクリックすると、検出エリアがすべて消去されます。[反転選択]をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- (4) 感度を設定します。数値が大きいほど感度は高くなります。

感度	低い	高	い	4
----	----	---	---	---

- (5) [保存]をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール]タブを開き、動き検出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 動き検出

アラーム設定 エリアと感度 **スケジュール**

消去する 追加する

週日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

休日スケジュール

日付

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
00:00-24:00 手動入力																								

保存

スケジュールの設定方法

◆ 週の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去する：動き検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加する：動き検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[消去する]または[追加する]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日スケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、[追加する]をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。削除するときは、日付を選択してから[削除]をクリックします。

4.4.2 異常

異常アラーム関連のパラメータ、連動アラームを設定します。

➤ SD カードフル

[SD カードフル]タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル	SDカードエラー	IPアドレスの衝突	ケーブルが接続されていない
<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
アラーム保持時間	20秒		
アラーム出力トリガー			
<input type="checkbox"/> アラームアウト			
<input type="checkbox"/> Eメールトリガー			
<input type="checkbox"/> FTPトリガー			
保存			

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯になったときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力）、E メールトリガー（メールを送信）、FTP トリガー（FTP ファイル転送） ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ SD カードエラー

[SD カードエラー]タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの衝突 ケーブルが接続されていない

有効

アラーム保持時間 20秒

アラーム出力トリガー

アラームアウト

Eメールトリガー

FTPトリガー

保存

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みにエラーがあること通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力）、E メールトリガー（メールを送信）、FTP トリガー（FTP ファイル転送） ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ IP アドレス競合

[IP アドレスの衝突]タブを開き、IP アドレスが競合したときのアラームを設定します。

表示	説明
有効	IP アドレスの競合を検出されたとき通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	IP アドレスの競合エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力） ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ LAN ケーブル接続不良

[ケーブルが接続されていない]タブを開き、ネットワーク接続にエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー IPアドレスの衝突 ケーブルが接続されていない

有効

アラーム保持時間 20秒

アラーム出力トリガー

アラームアウト

保存

表示	説明
有効	LAN ケーブル接続不良を通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	LAN ケーブルの接続不良では、以下のアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力） ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

4.4.3 アラームイン

センサーアラームの関連パラメータ、運動アラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームイン

有効

アラームタイプ N.O.

アラーム保持時間 20秒

センサー名

アラーム出力トリガー

アラームアウト

SDカード画像取りトリガー

SDカード録画トリガー

Eメールトリガー

FTPトリガー

保存

表示	説明
有効	アラーム入力があるときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラームタイプ (接点形式)	接点形式を選択します。 N.O. : A 接点。通常=OFF N.C. : B 接点。通常=ON
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
センサー名	表示するセンサー名を設定します。
アラーム出力トリガー (連携するアラーム出力)	アラーム入力では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラームアウト（アラーム接点出力）、SD カード画面取りトリガー（写真を SD カードに保存）、SD カード録画トリガー（SD カード録画）、E メールトリガー（メールを送信）、FTP トリガー（FTP ファイル転送） ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]は、4.4.1 節の[スケジュール選択](#)を参照してください。

4.4.4 アラームアウト

センサーラームの出力についての関連パラメータを設定します。次の4つのアラーム出力モードから選択します。アラーム運動、手動操作、昼/夜のスイッチリンク（昼/夜の切替えとの運動）、定時（設定された時間で実行）。

➤ アラーム運動

イベントの検出(動き検出、異常)に運動して、アラームを出力します。

アラーム出力を実行する場合、各イベントの設定で[アラームアウト]にチェックを入れる必要があります。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト	
アラーム出力モード	<input type="text" value="アラーム運動"/>
アラーム出力名	<input type="text" value="alarmOut1"/>
アラーム保持時間	<input type="text" value="20秒"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム運動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。例：alarmOut1
アラーム保持時間	アラームの持続時間を設定します。 イベントのアラーム持続時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム持続時間を設定します。 3秒、5秒、10秒、20秒、30秒、60秒、2分、常時から選択します。
保存	設定を保存します。

➤ 手動操作

手動でアラーム接点出力の ON/OFF を操作します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード **手動操作**

手動操作 **オープン** | **閉じる**

保存

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
手動操作	アラームの ON (オープン) または OFF (閉じる) を手動で切り替えます。※カメラ内部でリレーの動作音が確認できます。
保存	設定を保存します。

➤ 昼/夜のスイッチリンクケージ（昼/夜の切替えとの連動）

カメラが昼間モードまたは夜モードに切り替わったときに、アラームを出力します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト

アラーム出力モード **昼/夜のスイッチリンクケージ**

昼間 **閉じる**

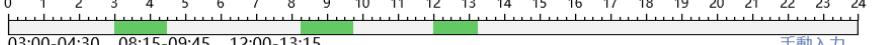
夜 **閉じる**

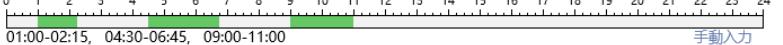
保存

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜のスイッチリンクケージを選択します。
昼	昼モードの時に、アラームを ON (オープン) または OFF (閉じる) にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON (オープン) または OFF (閉じる) にするのか選択します。
保存	設定を保存します。

➤ 定時（設定された時間で実行）

指定した時間にアラームを ON にします。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームアウト	
アラーム出力モード	定時 <input type="button" value="▼"/>
時間範囲	<input type="radio"/> 消去する <input checked="" type="radio"/> 追加する  03:00-04:30, 08:15-09:45, 12:00-13:15 <input type="button" value="手動入力"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
アラーム出力モード	定時を選択します。
時間範囲	緑ラインのときに、アラームが ON になります。 消去する(OFF)/追加する(ON)を選択してから、[手動入力]をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。  01:00-02:15, 04:30-06:45, 09:00-11:00 <input type="button" value="手動入力"/>
保存	設定を保存します。

4.4.5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームサーバー	
サーバーアドレス	<input type="text"/>
ポート	0
ハートビート	無効にする <input checked="" type="checkbox"/>
ハートビート間隔	30 秒
OK	

ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

表示	説明
サーバーアドレス	アラームサーバ（NVMS-2.0）のアドレスを設定します。
ポート	アラームサーバ（NVMS-2.0）のポート番号を設定します。
ハートビート	カメラが正常に動作していることを通知します。
ハートビート間隔	ハートビートの通知間隔を設定します。
OK	設定を保存します。

4.5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、UPnP、Email、FTP、HTTPS、QoSなどのサブメニューがあります。

 システム 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ 魚眼パラメータ	設定ホーム ▶ ネットワーク	
	ネットワーク	
	● TCP/IP	ネットワーク設定 (IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど)
	● ポート	ポートHTTP、HTTPS、データ、RTSPなどの設定。
	● サーバー	認証サーバーの設定
	● DDNS	DDNSサーバー設定
	● SNMP	ネットワークに接続されたデバイスの管理上の懸念を監視する
 イメージ ディスプレイの設定 ビデオ/音声 OSD ビデオマスク ROI設定	● 802.1X	ユーザーがデバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。
 PTZ プロトコル	● RTSP	RTSPリモートビデオストリーミングの設定。
 アラーム 動き検出 異常 アラームイン アラームアウト アラームサーバー	● UPnP	UPnP設定
 ネットワーク TCP/IP ポート もっと...	● Email	Eメールの設定
 セキュリティ ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト 安全管理	● FTP	FTPサーバーの設定
 メンテナンス バックアップと復元 リポート アップグレード 操作ログ	● HTTPS	証明書の署名付きインストール、証明書要求の作成、プライベート証明書の作成、HTTPSなどの証明書のインポートと削除機能のサポート、ユーザーのプライバシー保護、コンテンツ暗号化、ID認証、データの完全性によるトラフィックのハイジャック防止
	● QoS	ネットワークデータパケットにDSCPを追加することによって異なるデータパケットをランクイングする。

4.5.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。（IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など）

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する
 以下のIPアドレスを使用してください

IPアドレス	192.168.226.201	テスト
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.226.1	
優先DNSサーバー	192.168.226.1	
代替DNSサーバー	8.8.8.8	

保存

➤ IPv4

IPv4 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する
 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス	192.168.226.201	テスト
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.226.1	
優先DNSサーバー	192.168.226.1	
代替DNSサーバー	8.8.8.8	

保存

➤ IPv6

IPv6 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

自動的にIPアドレスを取得する
 以下のIPアドレスを使用してください

IPアドレス: fe80::20c:29ff:fe37:3729
サブネット長: 64
ゲートウェイ: fe80::20c:29ff:fe37:1

保存

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

有効

ユーザー名
パスワード

保存

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。



[E メールトリガー]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※E メール通知の送受信に関する設定は、「4.5.9 Email」で事前に行う必要があります。

[FTP ファイル転送]にチェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択します。

※FTP サーバに関する設定は、「4.5.10 FTP」で事前に行う必要があります。

をクリックして、設定を保存します。

4.5.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
ポート	サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。 (初期値 : 80)
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。 (初期値 : 443)
データポート	カメラ制御を行うポートです。 (初期値 : 9008)
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。 (初期値 : 554)
保存	設定を保存します。

4.5.3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
ポート	サーバー
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
サーバポート	2009
サーバーアドレス	*****.autoddns.com
デバイスID	1
保存	

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ **保存** をクリックして、設定を保存します。

4.5.4 DDNS

DDNS サーバを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS

有効

サーバータイプ: www.dyndns.com

ユーザー名: []

パスワード: []

ドメイン: []

保存

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。 DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrddns.com** をサーバとした場合

- IE アドレスバーに **www.dvrddns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

Welcome to DvrDydns
Enter your user name and password. Choose logon to continue.

Logon Registration 中文

Enter your user name and password below.

USER LOGON

USER NAME: []

PASSWORD: []

Password is case sensitive.

Logon Reset

Forgot your password?

- ② [Registration (登録)] ボタンをクリックすると、以下のようにインターフェースに進みます。
 DDNS アカウント情報（ユーザ名、パスワードなど）を設定し、[Submit (送信)] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

Welcome to DvrDydns
Create a user account or choose existing users below to begin.

DDNS account creation.

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/>
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION...	<select>My first phone number.</select>
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	 <input type="text"/> New Captcha Solve the problem above.

Submit **Reset**

Already have an account? [Click here to logon.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain (ドメインの要求)] をクリックします。

User Settings Domains Logout

Domain Name Creation
Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

.dvrddns.com **Request Domain**

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

User Settings Domains Logout

My Domains
Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. **Search**

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC 1234		htc1234.dvrddns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names [1]

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは www.dvrdydns.com を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS

有効

サーバータイプ

ユーザー名

パスワード

ドメイン

保存

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。（UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます）
- ⑦ IE アドレスバーに `http://www.xxx.dvrdydns.com:81` のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

4.5.5 SNMP

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
SNMP v1/v2											
<input type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする <input type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする											
SNMPコミュニティを読む	public										
SNMP名称を書く	private										
トラップ住所	192.168.226.201										
トラップポート	162										
トラップグループ名	public										
SNMP v3											
<input type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする											
ユーザー名を読む	public										
セキュリティレベル	auth, priv										
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA										
認証パスワード	*****										
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES										
秘密鍵パスワード	*****										
ユーザー名を書く	private										
セキュリティレベル	auth, priv										
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA										
認証パスワード	*****										
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES										
秘密鍵パスワード	*****										
SNMPその他の設定											
SNMPポート	161										
保存											

➤ SNMP v1/v2

[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティを読む	public
SNMP名称を書く	private
トラップ住所	192.168.226.201
トラップポート	162
トラップグループ名	public

表示	説明
SNMP コミュニティを読む	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
SNMP 名称を書く	Write-only。SNMP による書き込み専用のコミュニティ名を入力します。
トラップ住所	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名を読む	public
セキュリティレベル	auth, priv
認証アルゴリズム	<input type="radio"/> MD5 <input checked="" type="radio"/> SHA
認証パスワード	*****
秘密鍵アルゴリズム	<input type="radio"/> DES <input checked="" type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	*****
ユーザー名を書く	private
セキュリティレベル	auth, priv
認証アルゴリズム	<input type="radio"/> MD5 <input checked="" type="radio"/> SHA
認証パスワード	*****
秘密鍵アルゴリズム	<input type="radio"/> DES <input checked="" type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	*****

表示	説明
ユーザー名を読む	SNMP による読み取り専用のユーザー名を入力します。
ユーザー名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザー認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 • auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 • auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 • no auth, no priv : ユーザー名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMP その他の設定	
SNMPポート	161
<input type="button" value="保存"/>	

4.5.6 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効											
プロトコルタイプ	EAP MD5										
EAPOLバージョン	1										
ユーザー名											
パスワード	*****										
パスワードを認証する	*****										
<input type="button" value="保存"/>											

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。

4.5.7 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスト

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効											
ポート	554										
アドレス	rtsp://IP or domain name:port/profile1										
	rtsp://IP or domain name:port/profile2										
	rtsp://IP or domain name:port/profile3										
	rtsp://IP or domain name:port/profile4										
	rtsp://IP or domain name:port/profile5										
	rtsp://IP or domain name:port/profile6										
	rtsp://IP or domain name:port/profile7										
	rtsp://IP or domain name:port/profile8										
	rtsp://IP or domain name:port/profile9										
	rtsp://IP or domain name:port/profile10										
	rtsp://IP or domain name:port/profile11										
マルチキャストアドレス											
第1ストリーム	239.0.0.0	50554	<input type="checkbox"/> 自動開始								
第2ストリーム	239.0.0.1	51554	<input type="checkbox"/> 自動開始								
第3ストリーム	239.0.0.2	52554	<input type="checkbox"/> 自動開始								
オーディオ	239.0.0.3	53554	<input type="checkbox"/> 自動開始								
<input type="checkbox"/> 匿名ログインを許可する (ユーザー名またはパスワードは不要)											
<input type="button" value="保存"/>											

[有効]にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート : 「4.5.2 ポート」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス : VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。

【例】 RTSP アドレス（ユニキャスト）。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3

- マルチキャストアドレス：マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。

【例】 RTSP アドレス（マルチキャスト）。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast

カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。

- [匿名ログインを許可する（ユーザー名またはパスワードは不要）] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.5.8 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、ブラウザからカメラにアクセスできます。



UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

4.5.9 Email

Emailに関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP **Email** FTP HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバーアドレス

安全な接続 不要

SMTPポート 25 デフォルト

送信間隔(S) 0 (0-3600)

受信者

AAAAA@hytec.co.jp
BBBBBBBB@yahoo.co.jp
CCCCCCC@gmail.com

受信者アドレス

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	abcdefg@gmail.com
ユーザー名	abcdefg
パスワード	*****
サーバーアドレス	smtp.gmail.com
安全な接続	SSL
SMTPポート	465 デフォルト
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	0 (0-3600)
クリア テスト	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザー名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは、SSL を選択し SMTP ポートは 465 を指定します。 デフォルト で初期値に戻ります。
- ⑤ E メールの送信間隔を設定します。
送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。
- ⑥ テスト をクリックして、アカウントの接続テストを行います。
- ⑦ **注 1** *Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。*

➤ 受信者

[受信者アドレス]欄に受信者のメールアドレスを入力し、**追加する** をクリックしてリストに追加します。

削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** クリックしてリストから削除します。



最後に[保存]ボタンをクリックして、設定を保存してください。

4.5.10 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

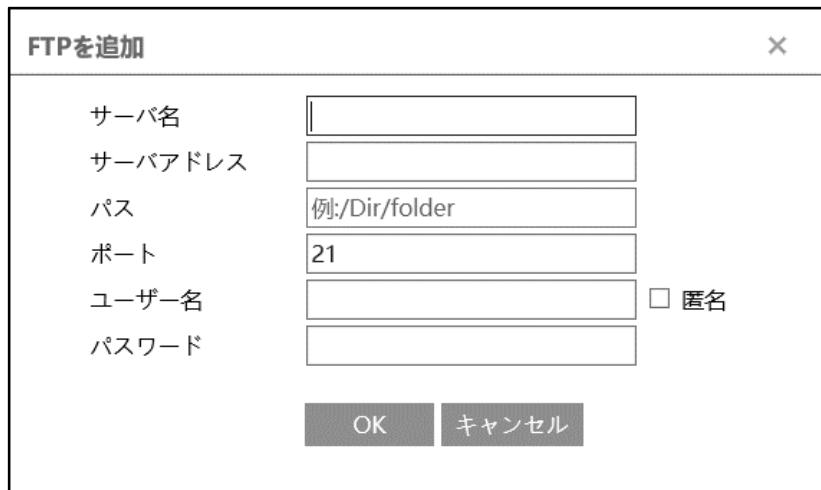
ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email **FTP** HTTPS QoS

サーバー名	サーバーアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP TEST	192.168.xxxx.xxx	21	ftp user	

追加する 変更 削除 テスト 保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、[追加する] をクリックします。変更する場合は、[変更] をクリックします。



表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省きます。
OK	ウィンドウを閉じます。（まだ保存されてません。）
保存	設定を保存します。

➤ テスト

[テスト] をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

[削除] をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

4.5.11 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。



有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例：https://192.168.226.201:443 》

「HTTP ポートを無効にする」にチェックを入れると、http ではアクセスできなくなるので https://IP アドレス:HTTPS ポートでアクセスする必要があります。

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。3 種類のインストールタイプを選択して、各タイプで設定してください。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効										
<input checked="" type="radio"/> 証明書に署名して、直接インストールしてください <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求を作成する										
証明書をインストールする <input type="button" value="ブラウズ"/> <input type="button" value="インストール"/>										
<input type="button" value="保存"/>										

➤ 証明書に署名して、直接インストールしてください

インストールタイプ	<input checked="" type="radio"/> 証明書に署名して、直接インストールしてください <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求を作成する
証明書をインストールする <input type="button" value="ブラウズ"/> <input type="button" value="インストール"/>	
<input type="button" value="保存"/>	

[ブラウズ]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。

最後に[保存]ボタンをクリックします。

➤ プライベート証明書を作成する

インストールタイプ	<input type="radio"/> 証明書に署名して、直接インストールしてください <input checked="" type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求を作成する
プライベート証明書を作成する <input type="button" value="作成する"/>	
<input type="button" value="保存"/>	

[作成する]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2 文字のみ利用可能)、ドメイン(NVR の IP アドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。

プライベート証明書を作成する

国	* 例:CN
ドメイン	*
有効期限	*
パスワード	
州/州	
領域	
組織	
単位	
E メール	

OK キャンセル

➤ 証明書要求を作成

インストールタイプ

- 証明書に署名して、直接インストールしてください
- プライベート証明書を作成する
- 証明書要求を作成する

証明書要求を作成する

作成する ダウンロード 削除

保存

[作成する]をクリックして証明書要求を作成します。

証明書要求の作成

国	* 例:CN
ドメイン	*
パスワード	
州/州	
領域	
組織	
単位	
E メール	

OK キャンセル

国(2 文字のみ利用可能)、ドメイン(NVR の IP アドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書を

デバイスにインポートします。[ファイルの選択]をクリックして証明書ファイルを選択し、[インストール]をクリックしてインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

4.5.12 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることが出来ます。

設定ホーム ▶ ネットワーク ▶ アドバンスド	
ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS	
ビデオ/オーディオDSCP	<input type="text" value="0"/>
アラームDSCP	<input type="text" value="0"/>
マネージャDSCP	<input type="text" value="0"/>
保存	

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。数値が大きいほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

4.6 セキュリティ設定

ユーザー、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、安全管理などのサブメニューがあります。

セキュリティ	
● ユーザー	追加、修正、システムユーザー削除。そのうち、adminはマスター管理者なので、削除不可
■ オンラインユーザー	オンラインユーザーを表示
● ブロックと許可リスト	特定のIPアドレスまたはMACアドレスへのアクセスを許可またはブロックする。
■ 安全管理	不正ログインすると、安全設定の推奨

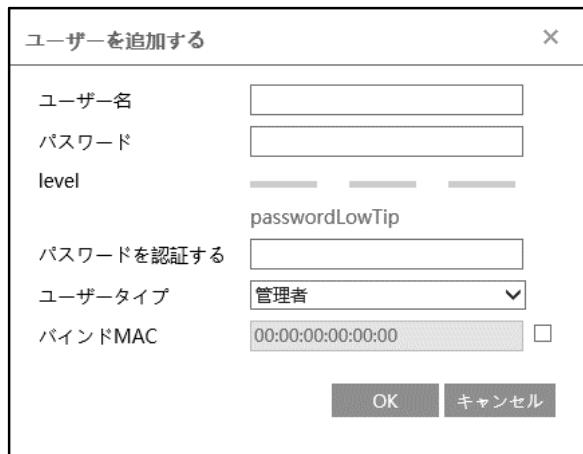
4.6.1 ユーザー

ユーザーの追加、変更、削除の設定を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

Index	ユーザー名	ユーザータイプ	バインドMAC
1	admin	管理者	

ユーザーの追加方法

- ① [追加する] をクリックすると、「ユーザーを追加する」がポップアップします。



- ② ユーザー名とパスワード(パスワード確認)は、1～15 文字の英数字で設定します。
レベルは、パスワードの強度を示します。「パスワードを認証する」にも同じパスワードを入力します。
- ③ ユーザータイプを選択します。
- ・ 管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ 上級ユーザー : 「ユーザー」、「ロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ノーマルユーザ : 「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ バインド MAC を指定することで特定の PC だけが、カメラにアクセスすることができます。チェックを入れて MAC アドレスを指定してください。
- ⑤ [OK]をクリックして、追加します。

上位ユーザとノーマルユーザの初期権限

システム設定	基本情報	○	
	日付と時刻	○	
	ローカル設定	○	
アラーム設定	モーション検出	検出設定	×
		エリアと感度	○
		スケジュール	○
	異常		○
	アラーム入力		○
	アラーム出力		○
	ネットワーク設定	閲覧のみ	
セキュリティ設定	ユーザ	○※	
	オンラインユーザ	○	

※ログイン中ユーザのパスワード変更

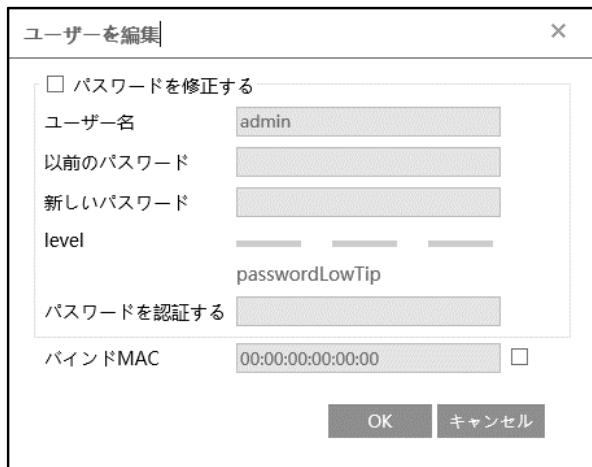
ユーザレベルと付与可能な権限

	上位ユーザー	ノーマルユーザー
ストレージ設定	○	×
画像設定（全項目）	○	○
PTZ コントロール	○	○
アラームサーバ設定	○	○
イベント設定	○	○
ネットワーク設定	○	×
セキュリティ設定	○※	×
バックアップと復元	○	×
再起動とアップグレード	○	×
ログ閲覧	○	○
音声インターホン（双方向音声通話）	○	○
プレビュー（ライブ）	○	○
再生（検索）	○	○
ユーザー管理	×	×

※ユーザー編集を除く、セキュリティメニュー

パスワードの変更方法

- ① [変更] をクリックすると、「ユーザーを編集」がポップアップします。



- ② [パスワードを修正する]にチェックを入れ、変更する前のパスワードと新しいパスワードを入力します。
「パスワードを認証する」にも同じパスワードを入力します。レベルは、パスワードの強度を示します。
- ③ [OK]をクリックして保存します。

ユーザーの削除方法

- ① 削除するユーザーを選択します。選択されているユーザーは青くなります。
- ② [削除] をクリックすると、削除を確認するメッセージをポップアップするので OK をクリックして削除します。

4.6.2 オンラインユーザ

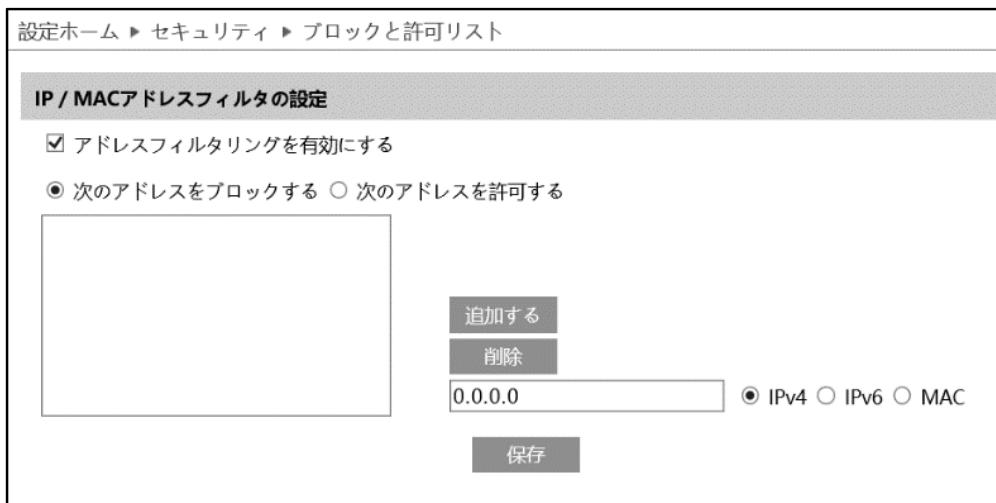
本機にアクセスしているオンラインユーザを表示します。

管理者ユーザーは、他のすべてのユーザーを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ オンラインユーザー					
Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザータイプ	
1	172.16.100.50	34445	admin	管理者	キックアウト

4.6.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスまたは MAC アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。
[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。



IP アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックする]または[次のアドレスを許可する]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック : リスト内のアドレスをブロックし、他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可 : リスト内のアドレスを許可し、他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4、IPv6、MAC から選択し、アドレスを入力します。
- ③ 「**追加する**」をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ 「**保存**」をクリックして保存します。

IP アドレスフィルタの削除方法

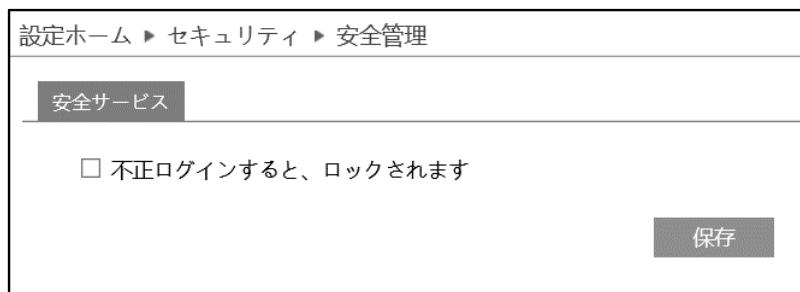
- ① リストからアドレスを選択します。
- ② 「**削除**」をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ 「**保存**」をクリックして保存します。

4.6.4 安全管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[安全サービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。



[不正ログインするとロックされます]にチェックを入れると、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

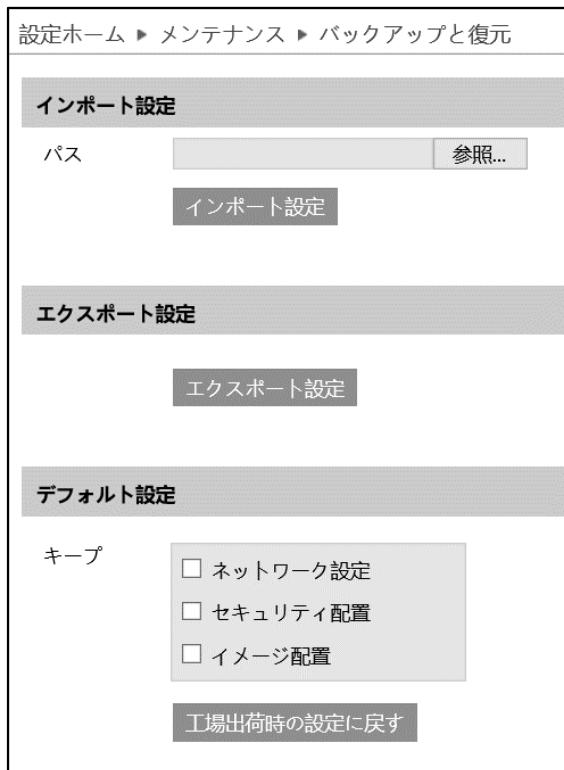
4.7 メンテナンス

バックアップと復元、リブート（再起動）、アップグレード、操作ログなどのサブメニューがあります。

 システム 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ 魚眼パラメータ	設定ホーム ▶ メンテナンス
 イメージ ディスプレイの設定 ビデオ/音声 OSD ビデオマスク ROI設定	メンテナンス <ul style="list-style-type: none"> ● バックアップと復元 システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷時のデフォルト設定へのリセット ● リブート デバイスを再起動する ● アップグレード ドライバソフトウェアアップグレード ● 操作ログ 操作ログを見る
 PTZ プロトコル	
 アラーム 動き検出 異常 アラームイン アラームアウト アラームサーバー	
 ネットワーク TCP/IP ポート もっと...	
 セキュリティ ユーザー オンラインユーザー ロックと許可リスト 安全管理	
 メンテナンス バックアップと復元 リブート アップグレード 操作ログ	

4.7.1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（設定の復元）とエクスポート（設定のバックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。



➤ インポート設定（設定の復元）

[参照]をクリックして、バックアップファイルを選択します。[Import Settings] をクリックして、設定を復元します。（※事前に設定をエクスポートしたファイルを用意する必要があります。）



➤ エクスポート設定（設定のバックアップ）

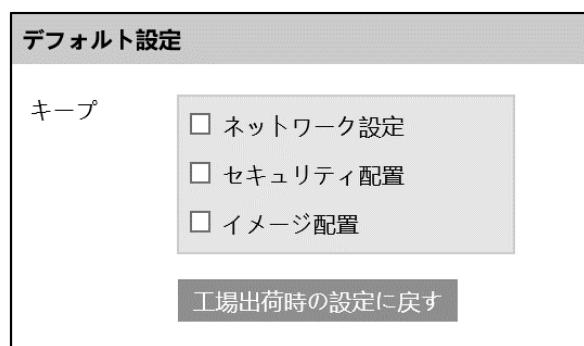
[Export Settings] をクリックして、設定をバックアップします。（config.txt ファイルが生成されます。）



➤ デフォルト設定（工場出荷時へ設定を戻します）

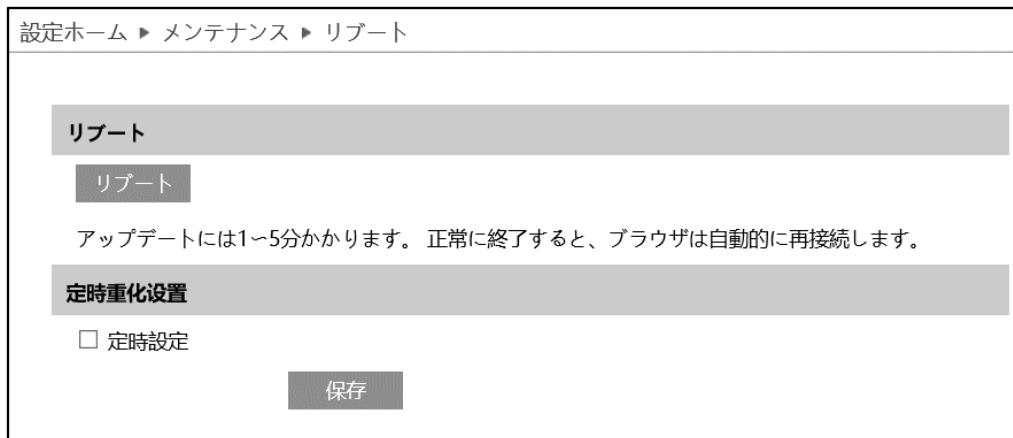
「工場出荷時の設定に戻す」をクリックして、設定を初期状態に戻します。

「キープ」で選択した設定項目は、初期化されず、現在の設定を保持します。



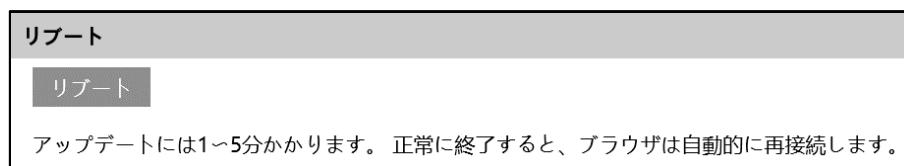
4.7.2 リブート（再起動）

カメラの再起動を行います。



➤ リブート（再起動）

[リブート] をクリックすると、確認のメッセージがポップアップします。OKをクリックするとカメラは再起動を行います。再起動には 1~5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。



➤ 定刻自動再起動

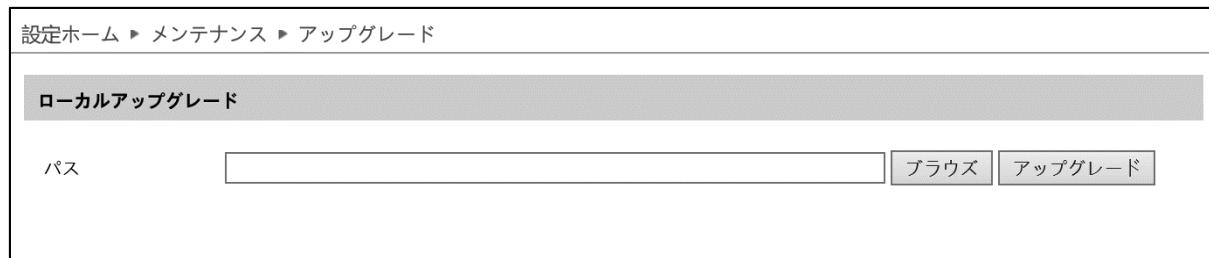
定期的に再起動を行います。

[定時設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間帯を指定します。

定時重化设置	
<input checked="" type="checkbox"/> 定時設定	
週	毎日
時間	15:07
<input type="button" value="保存"/>	

4.7.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。



ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [ブラウズ]をクリックして、アップグレードファイルを選択します。
- ② [アップグレード]をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
- ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

※ アップグレード中はカメラの電源を切らないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

※ 現在のバージョンから古いバージョンへ戻さないでください。

4.7.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

The screenshot shows the 'Operation Log' search interface. At the top, there are dropdown menus for 'Main Type' (set to 'All Logs') and 'Sub Type' (set to 'All Logs'), and date pickers for 'Start Time' (2023-08-01 00:00:00) and 'End Time' (2023-08-01 23:59:59). Below these are buttons for 'Search' and 'Export'. The main area is a table with columns: Index, Time, Main Type, Sub Type, User Name, and Login IP. The table contains 11 rows of log entries. Row 1: Index 1, Time 2023-08-01 07:01:31, Main Type 操作, Sub Type ログイン, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 2: Index 2, Time 2023-08-01 07:00:23, Main Type 操作, Sub Type ログイン, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 3: Index 3, Time 2023-08-01 07:00:16, Main Type 操作, Sub Type ログアウト, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 4: Index 4, Time 2023-08-01 07:00:16, Main Type 操作, Sub Type ログアウト, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 5: Index 5, Time 2023-08-01 06:59:51, Main Type 操作, Sub Type ログイン, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 6: Index 6, Time 2023-08-01 06:59:50, Main Type 操作, Sub Type ログイン, User Name admin, Login IP 192.168.226.189. Row 7: Index 7, Time 2023-08-01 06:59:44, Main Type 情報, Sub Type システム起動, User Name, Login IP. Row 8: Index 8, Time 2023-08-01 06:59:39, Main Type 操作, Sub Type システム設定変更, User Name, Login IP. Row 9: Index 9, Time 2023-08-01 06:59:39, Main Type 操作, Sub Type ネット設定変更, User Name, Login IP. Row 10: Index 10, Time 2023-08-01 06:59:39, Main Type 操作, Sub Type システム設定変更, User Name, Login IP. Row 11: Index 11, Time 2023-08-01 06:59:39, Main Type 操作, Sub Type ビデオ設定変更, User Name, Login IP.

Index	時間	メインタイプ	サブタイプ	ユーザー名	ログインIP
1	2023-08-01 07:01:31	操作	ログイン	admin	192.168.226.189
2	2023-08-01 07:00:23	操作	ログイン	admin	192.168.226.189
3	2023-08-01 07:00:16	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189
4	2023-08-01 07:00:16	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189
5	2023-08-01 06:59:51	操作	ログイン	admin	192.168.226.189
6	2023-08-01 06:59:50	操作	ログイン	admin	192.168.226.189
7	2023-08-01 06:59:44	情報	システム起動		
8	2023-08-01 06:59:39	操作	システム設定変更		
9	2023-08-01 06:59:39	操作	ネット設定変更		
10	2023-08-01 06:59:39	操作	システム設定変更		
11	2023-08-01 06:59:39	操作	ビデオ設定変更		

At the bottom right, there are navigation buttons for page numbers (1, 26), arrows, and a dropdown for items per page (20).

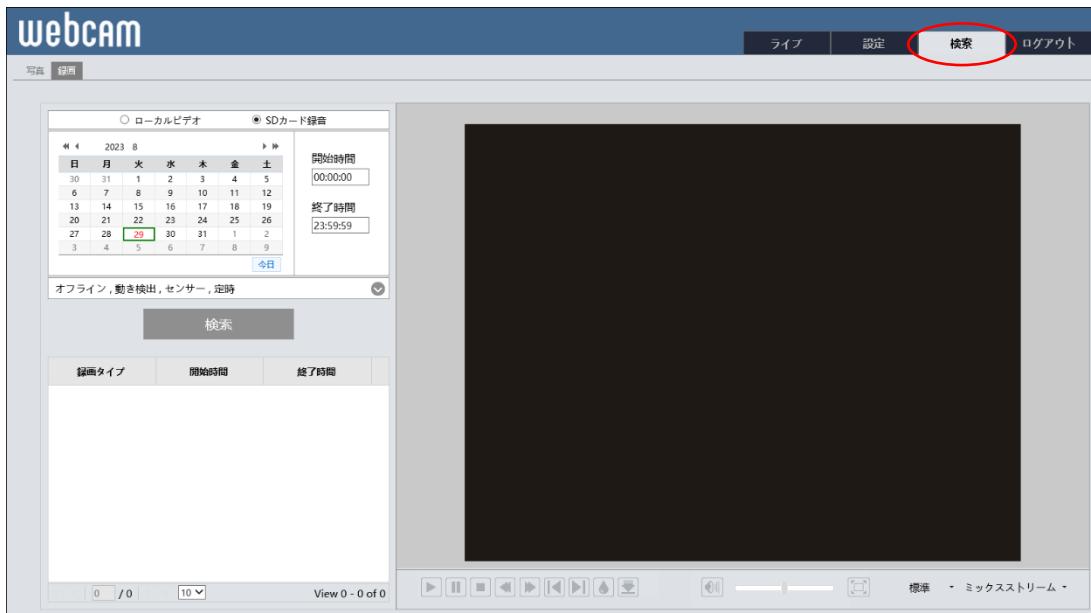
ログの取得方法

- ① メインタイプ、サブタイプより、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。（eventLog.txt ファイルが生成されます。）

5. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。



現在、Windows の仕様により、Internet Explore を起動することができないことがあります。

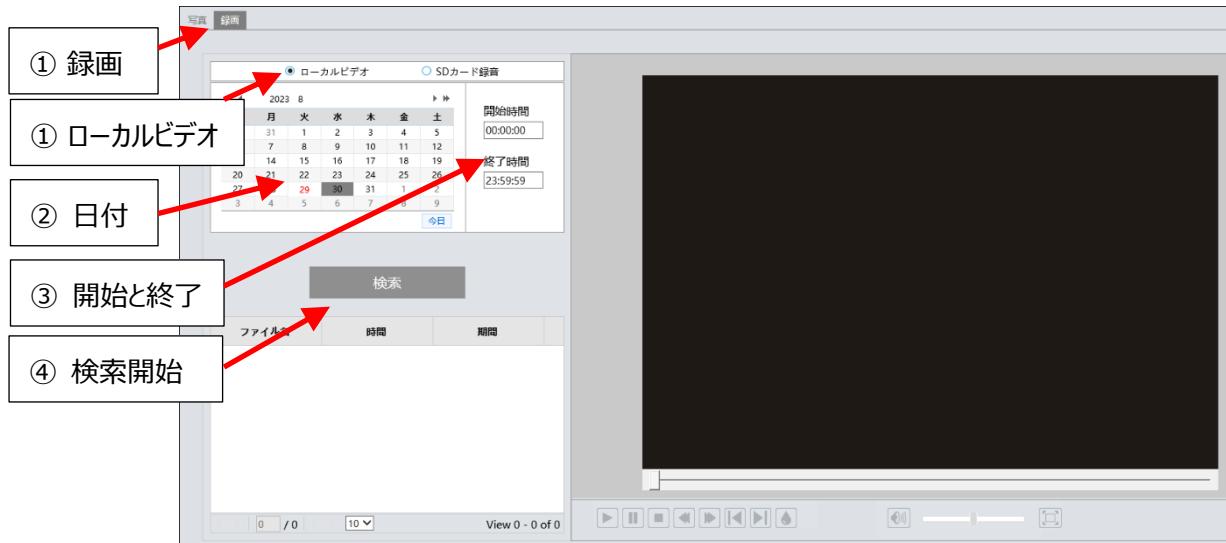
SD カードに録画した映像を再生するときは、Internet explorer または edge の IE モードでアクセスしてください。

SD カードに録画した動画のデータをダウンロードするには Internet explorer または HCMS ソフトウェアをご利用ください。ただし、スナップショット画像は HCMS からは一切扱えません。HCMS については、営業担当またはサポートまでお問合せください。

5.1 録画検索

5.1.1 ローカル録画（動画）

PCにローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① “録画”と“ローカルビデオ”を選択します。
- ② 検索したい日を選択します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索したい開始時間と終了時間を設定します。
- ④ “検索”をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。

ファイル名	時間	期間
2023082910364650...	2023-08-29 10:36:46	00:00:43

録画ファイルリスト

録画検索画面のアイコンを説明します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	前のファイル		次のファイル
	電子透かし表示		録画ダウンロード
	スピーカーON/OFF		全画面表示

5.1.2 SD カード録画（動画）

SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① “録画”と“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を選択します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索したい開始時間と終了時間を設定します。
- ④ “検索”をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索したい録画の種類を選択します。
- ⑥ ミックスストリーム(映像+音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑦ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。

SD カード録画の録画データのダウンロード

- ① バックアップしたい時間が決まっているときは、「5.1.2 SD カード録画（動画）」にある検索したい開始時間と終了時間の設定と同様にバックアップ時間を設定します。
- ② “検索”をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ③ 録画ファイルのリストに検索結果が表示されるので録画ファイルの行をクリックします。
- ④  がアクティブになるので、クリックするとダウンロードが始まります。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。
 設置：ダウンロード先の保存フォルダを指定 / パス：録画データをダウンロードしたフォルダを開く
 キャンセル：ダウンロードの中止 / オープン：ビデオを再生
 リストクリア：ダウンロードリストの削除 / 閉じる：ダウンロード画面を閉じる

Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	100%	センサー	2023-08-29 13:07:04	2023-08-29 13:07:29	testvideo	オープン

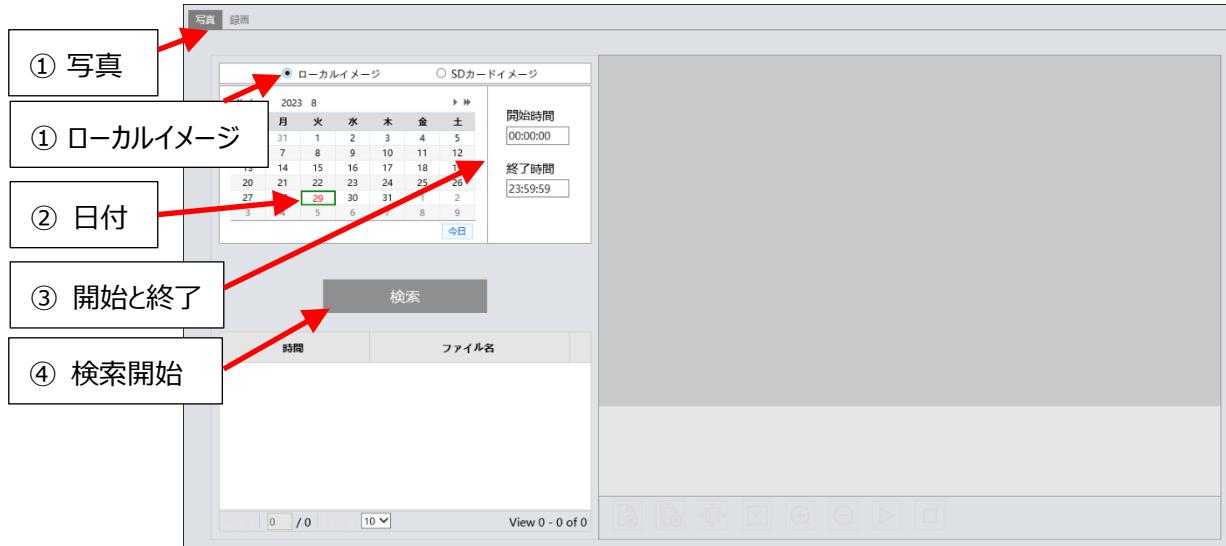
↓

設定
C:\Users\██████\Videos\testvideo
[リストクリア](#)
[閉じる](#)

5.2 画像検索

5.2.1 ローカル画像（静止画）

PC にローカルで保存されている画像（静止画）は、ここで見ることができます。



検索方法

- ① “写真”と“ローカルイメージ”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索したい開始時間と終了時間を設定します。
- ④ “検索”をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する静止画ファイルリスト内をダブルクリックすると保存された画像を表示します。

⑤ ダブルクリックで画像を表示

時間	ファイル名
2023-08-29 15:16:14	20230829151614652.jpg
2023-08-29 15:16:12	20230829151612010.jpg
2023-08-29 15:14:13	20230829151413534.jpg
2023-08-29 15:14:11	20230829151411613.jpg

静止画ファイルリスト

画像検索画面のアイコンを説明します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存 ※ 1		すべての画像を保存 ※ 1
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

※ 1 SD カードイメージを選択したときに表示します。

5.2.2 SD カード画像（静止画）

SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見ることができます。



検索方法

- ① “写真”と“SD カードイメージ”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索したい開始時間と終了時間を設定します。
- ④ “検索”をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索したい画像の種類を選択します。
- ⑥ 検索後に表示する静止画ファイルリスト内をダブルクリックすると保存された画像を表示します。

6. 製品仕様

● HIC-SF600N

製品名	HIC-SF600N
形状	6MP FISHEYE 360°全方位カメラ
カメラ部	
撮像素子	1/2.9"6MP CMOS SENSOR
最低被写体照度	Color : 0.068Lux@F2.0 IR ON 時 : 0Lux
赤外線 LED	赤外線 LED 6 個実装、照射距離 = 15m
S/N 比	54dB 以上 (AGC OFF 時)
レンズ	1.07mm 固定焦点 (画角 : 水平 180° / 垂直設置、360° / 水平設置)
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール
露出調整	自動 / マニュアル (シャッター・ゲイン)
シャッター速度	自動 (1 / 25~1 / 100,000) 及びフリッカレス
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル
DNR (ノイズ除去)	OFF / ON (LEVEL0~255)
WDR 機能	OFF / ON (LEVEL0~255)
逆光補正(HLC / BLC)	OFF / BLC (エリア : 上 / 下 / 左 / 右 / センター) / HLC
画像鮮明化	OFF / ON (LEVEL0~255)
その他の機能	ROI (3 エリア) 、プライバシーマスク (4 エリア) OSD (タイトル表示 / 時刻表示) 、画像回転 / 反転 SD カード録画
スマート機能	
基本	モーション検知、 異常検出 (SD カードエラー、IP アドレス競合、ネットワーク接続)
アラーム連携	SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力 FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存
ネットワーク部	
画像圧縮方式	H.265 / H.264 / MJPEG
音声圧縮方式	G711A / μ
インターフェース規格	ONVIF (PROFILE S)

画像サイズ	魚眼 + パノラマ + 90°×3	CH1 (360°魚眼映像) 第1ストリーム：2160×2160 / 1920×1920 / 1440×1440 第2ストリーム：960×960 第3ストリーム：480×480 CH2 (180°パノラマ映像) 第1ストリーム：1920×1080 第2ストリーム：704×480 (60Hz 時) 第2ストリーム：704×576 (50Hz 時) CH3～CH5 (90°映像) 第1ストリーム：960×540 第2ストリーム：480×240
	魚眼 + 90°×4	CH1 (360°魚眼映像) 第1ストリーム：2160×2160 / 1920×1920 / 1440×1440 第2ストリーム：960×960 第3ストリーム：480×480 CH2～CH5 (90°映像) 第1ストリーム：960×540 第2ストリーム：480×240
フレームレート		CH1：1～30fps CH2～CH5：1～15fps
ビットレート	魚眼 2160×2160	3,072kbps ~ 10,240kbps : H.264 2,048kbps ~ 8,192kbps : H.265
	魚眼 1920×1920	3,072kbps ~ 10,240kbps : H.264 2,048kbps ~ 8,192kbps : H.265
	魚眼 1440×1440	3,072kbps ~ 10,240kbps : H.264 2,048kbps ~ 8,192kbps : H.265
	魚眼 960×960	512kbps ~ 4,096kbps : H.264 256kbps ~ 2,048kbps : H.265
	魚眼 480×480	256kbps ~ 2,048kbps : H.264 128kbps ~ 1,024kbps : H.265
	180°パノラマ画像 1920×1080	1,024kbps ~ 6,144kbps : H.264 768kbps ~ 4,096kbps : H.265
	180°パノラマ画像 704×576	256kbps ~ 2,048kbps : H.264 128kbps ~ 1,024kbps : H.265
	180°パノラマ画像 704×480	256kbps ~ 2,048kbps : H.264 128kbps ~ 1,024kbps : H.265
	90°画像 960×540	256kbps ~ 2,048kbps : H.264 128kbps ~ 1,024kbps : H.265

	90°画像 480x240	128kbps ~ 1,024kbps : H.264 64kbps ~ 768kbps : H.265
プロトコル	UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, FTP, PPPoE, DDNS, SMTP, SNMP, 802.1x, UPnP, HTTP, HTTPS, QoS	
同時アクセス数	11	
その他機能	オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログイン ロック、CMS/VMS 接続、モバイルアプリ接続	
外部インターフェース		
音声	入力：1 系統 (LINE / 内蔵 MIC) 出力：1 系統 (LINE)	
映像出力	BNC CVBS 1.0Vp-p (NTSC / PAL) ※1	
イーサネット	RJ-45 (10 / 100BASE-T)	
アラーム IN/OUT	入力：1 系統 / 出力：1 系統 ※無電圧接点制御 接点容量：AC125V 0.5A 以下、DC30V 1A 以下	
SD カードスロット	Micro SD / SDHC / SDXC (最大 256GB サポート)	
電源入力コネクタ	DC +12V (Φ2.1mm 標準 DC ジャック)	
一般		
電源	DC+12V ($\pm 10\%$) & PoE+ (802.3 at, class 3) ※AC ADAPTOR 付属無し	
消費電力 (最大)	IR LED OFF=3.3W (DC12V / 270mA)、 IR LED ON=7.5W (DC12V / 620mA)、	
運用温度	-30°C～+60°C (湿度 0%RH ～ 95%RH)	
寸法	130 (Φ) x (H) 39 mm	
防塵 / 防水性能	IP67	
耐衝撃構造	IK10	
重量	450g	
製品保証期間	1 年間	

※ 1 : CVBS 出力による全ての運用はサポートしておりません。

7. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法

① 黒いカバーを外す。(磁石で固定されています。)

黒いカバーを外したら +ドライバで白いカバーを外す。ネジは 2 か所あります。



黒いカバーを外す（磁石で固定）



白いカバーを外す（ネジ 2 か所）

- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。



10秒以上長押しする。
※強く押しすぎないよう注意

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。
- ④ 白いカバーと黒いカバーを元通りに取付けます。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
- IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
- Web ポート番号が改定されました。管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。
※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。
デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0
- Microsoft Edge の IE 互換モードで接続してください。

パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。
※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

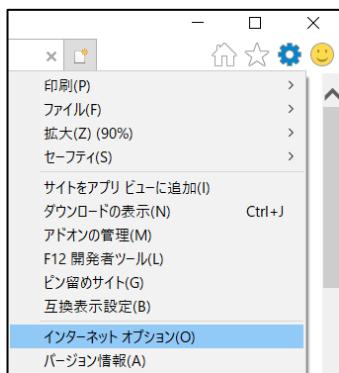
IP-Tool でデバイスを見つけられない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。

IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

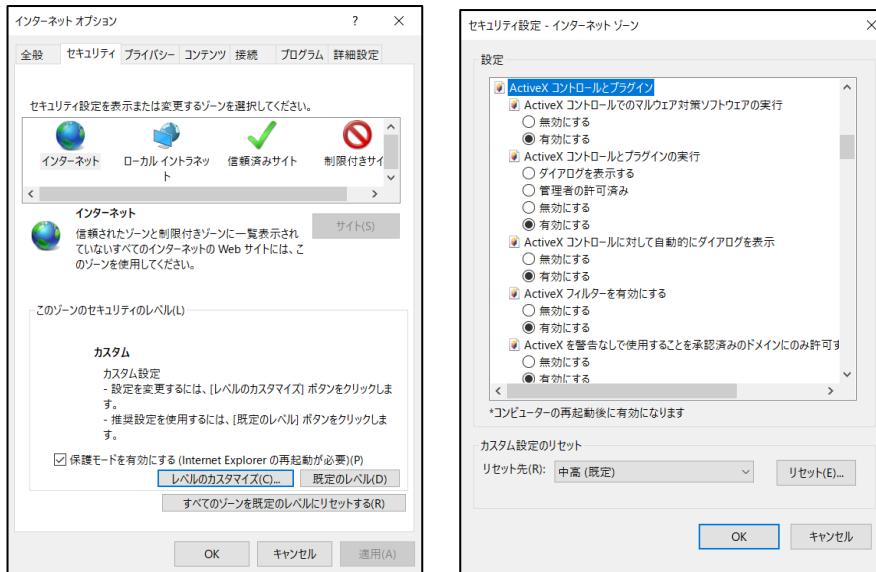
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール → インターネットオプションをクリックします。



- ② [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

8. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間 :

ご購入日より **3ヶ月間** (弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応)

製品保証期間 :

《本体》ご購入日より **1年間**(お預かりによる修理、または交換対応)

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
(修理できない場合もあります)
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：

https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html



Copyright © 2023
HYTEC INTER Co., Ltd.